

**高校卒業後の進路及び旭川大学をベースとした  
公立大学の設置に関するアンケート調査結果  
(高校 2 年生アンケート)**

平成 3 0 年 〇 月

旭川市総合政策部政策調整課

## 目 次

### I 調査概要

1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	対象者	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回収結果	2
7	調査結果の表し方	2

### II 調査項目別分析

1	進路希望について	3
2	進学を希望する地域	4
3	進学を決めるときに重視すること	6
4	進学を希望する大学等の設置主体について	9
5	進学を希望する大学等の学部・学科について	10
6	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況	13
7	旭川に公立大学が設置された場合に期待すること	14
8	ものづくり系学部等の考えについて	16
9	旭川大学をベースにした公立大学が進学先の対象としてなり得るか	18
10	就職を希望する（仕事をしたい）地域について	19
11	職業を選択するとき重視すること	20
12	将来つきたい業種，職業について	24
13	旭川市における大学，短大，専門学校等についての意見	28

### III アンケート調査票

1	調査票	31
---	-----	----

## I 調査概要

### 1 調査目的

旭川大学をベースとした公立大学の設置について検討を進めるに当たり、今後進学などを控えている全日制の高校2年生について、卒業後の進路等に関する意見を把握するために実施した。

### 2 調査項目

Q 1	性別
Q 2	高校を卒業した後の進路希望について
Q 3	進学を希望する地域について
Q 4	進学先を決めるときに重視することについて
Q 5	進学を希望する大学等の設置主体について
Q 6	進学を希望する大学等の学部・学科について
Q 7	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況について
Q 8	旭川に公立大学が設置された場合に期待すること
Q 9	ものづくり系学部等の考えについて
Q 10	旭川大学をベースにした公立大学が進学先の対象としてなり得るか
Q 11	就職を希望する（仕事をしたい）地域について
Q 12	職業を選択するとき重視することについて
Q 13	将来つきたい業種、職業について
Q 14	旭川市における大学、短大、専門学校等についての意見

### 3 対象者

旭川市内の高校に在籍する全日制の高校2年生

### 4 調査方法

各高校が調査票を調査対象生徒に配布し、アンケート調査を行った。

高校ごとにとりまとめた調査票を政策調整課が回収し、集計する方法で実施した。

### 5 調査期間

平成29年11月28日～12月22日

## 6 回収結果

表 I - 1 性別回答人数 (単位：人)

性別	合計
男性	1,325
女性	1,308
未記入	5
合計	2,638

## 7 調査結果の表し方

- ・回答率 (%) の母数は、その調査項目に該当する回答者数である。
- ・未記入の人数は、調査項目ごとの未記入の人数である。
- ・百分率は少数第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示しているため、回答率の合計が 100.0% にならない場合がある。
- ・複数回答の設問では、回答率の合計が 100.0% を超える場合がある。

## II 調査項目別分析

### 1 進路希望について

Q2 高校を卒業した後の進路希望について1つお答えください。

進路希望の回答については、大学が1,399人(53.1%)、短期大学が118人(4.5%)、専修・専門学校が413人(15.7%)、就職が640人(24.3%)、その他が13人(0.5%)であった。

男女別に見ると、短期大学希望者118人のうち105人(89.0%)、専修・専門学校希望者413人のうち273人(66.1%)が女子生徒となっていることから、短期大学及び専修・専門学校希望者では、女子生徒の割合が多い結果であった。また、就職希望者640人のうち、男子生徒が395人(61.7%)となっており、就職希望者では、男子生徒の割合が多い結果であった。

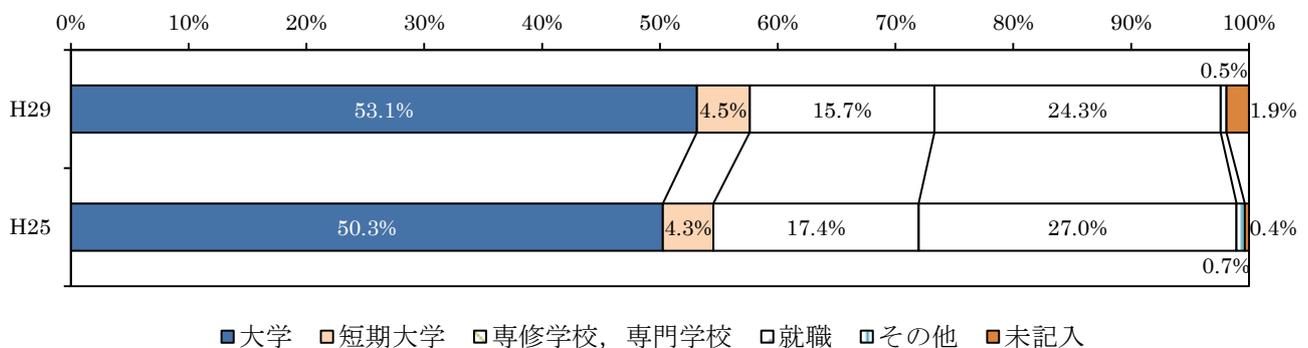
#### 【集計結果】

表II-1 卒業後の進路希望について(男女別)(単位:人)

性別	大学		短期大学		専修, 専門学校		就職		その他		未記入		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	748	56.5%	13	1.0%	140	10.6%	395	29.8%	5	0.4%	24	1.8%	1,325
女性	651	49.8%	105	8.0%	273	20.9%	245	18.7%	8	0.6%	26	2.0%	1,308
回答者数	1,399	53.1%	118	4.5%	413	15.7%	640	24.3%	13	0.5%	50	1.9%	2,633
未記入	0		0		1		1		0		3		5
合計	1,399		118		414		641		13		53		2,638

#### 【H25 との比較】

前回調査との比較では、大学への進学希望者が2.8ポイント上昇している。



図II-1 卒業後の進路比較

## 2 進学を希望する地域

Q3 進学を希望する地域を1つお答えください。

大学進学希望者のうち、「旭川市内」「札幌市及びその近郊」「1～2を含む道内」の大学への進学を希望する生徒は、949人（68.9%）であった。

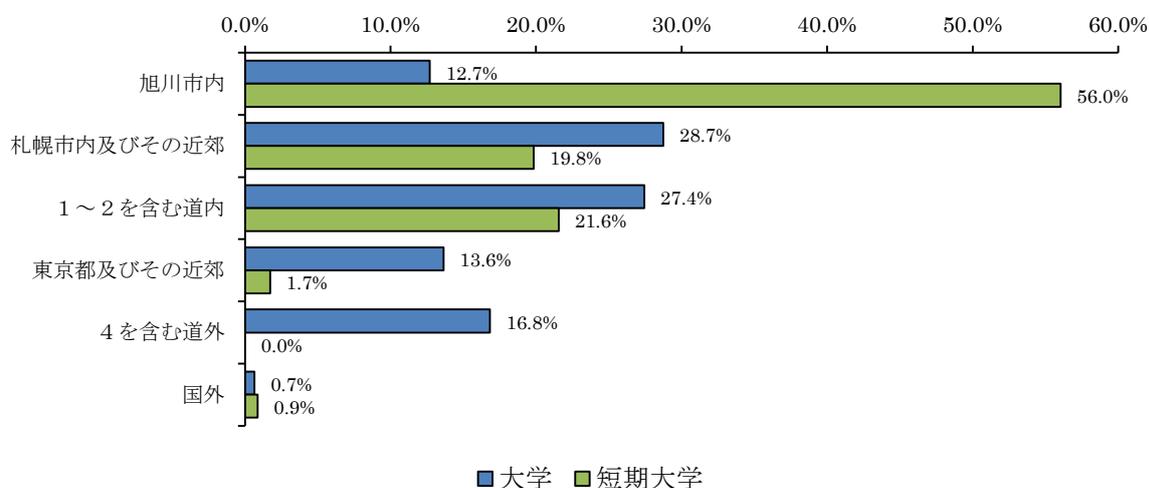
また、短期大学進学希望者のうち、「旭川市内」「札幌市及びその近郊」「1～2を含む道内」の短期大学への進学を希望する生徒は、113人（97.4%）であった。

以上のことから、大学進学希望者及び短期大学進学希望者は、道内の大学及び短期大学への進学を希望する傾向であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ－2 進学希望地域（単位：人）

	進路希望地域	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	旭川市内	175	12.7%	65	56.0%	240	16.1%
2	札幌市内及びその近郊（札幌市、小樽市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市）	396	28.7%	23	19.8%	419	28.0%
3	1～2を含む道内	378	27.4%	25	21.6%	403	27.0%
4	東京都及びその近郊（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）	188	13.6%	2	1.7%	190	12.7%
5	4を含む道外	232	16.8%	0	0.0%	232	15.5%
6	国外	9	0.7%	1	0.9%	10	0.7%
回答者数		1,378	100.0%	116	100.0%	1,494	100.0%
未記入		21		2		23	
合 計		1,399		118		1,517	

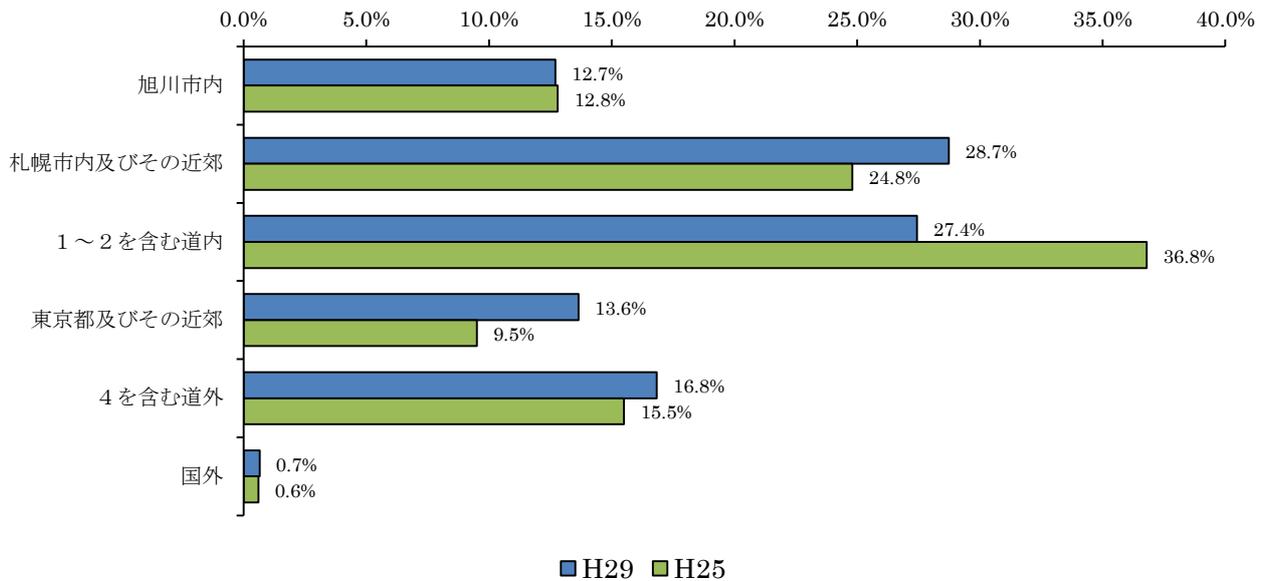


図Ⅱ－2 進学希望地域

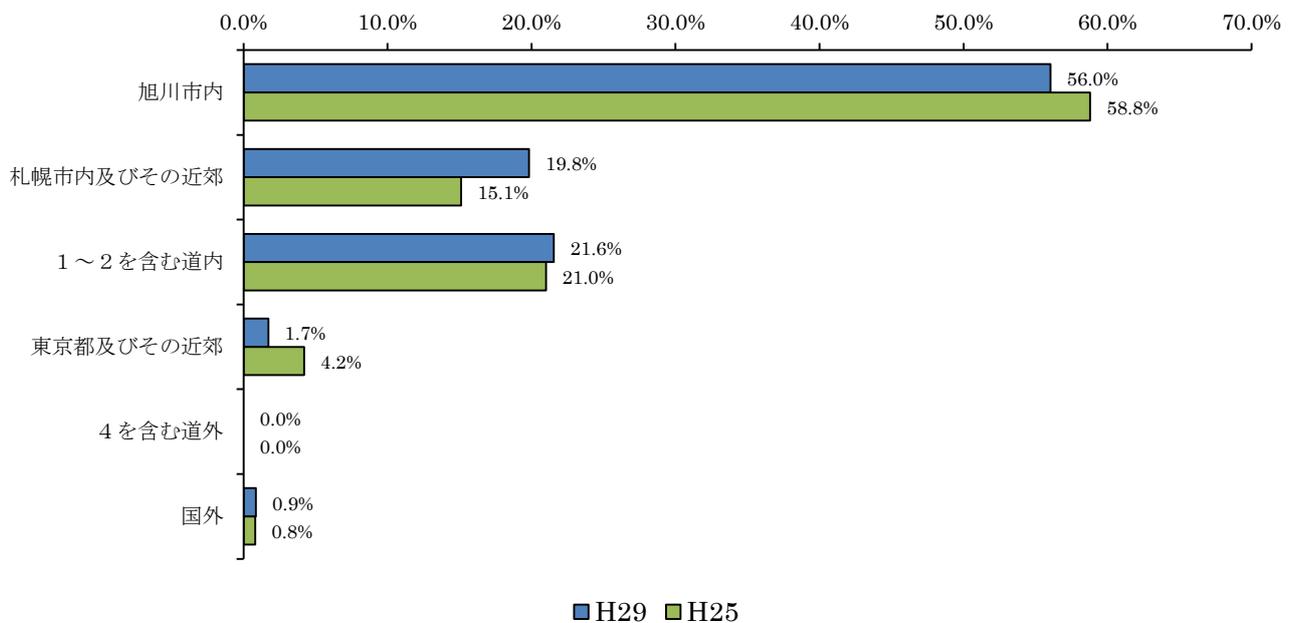
【H25 との比較】

前回調査との比較では、大学進学希望者のうち「札幌市及びその近郊」が3.9ポイント、「東京都及びその近郊」が4.1ポイント上昇しており、「旭川市内」「札幌市及びその近郊」「1～2を含む道内」の大学へ進学を希望する生徒は5.5ポイント減少していた。

また、短期大学進学希望者では、「旭川市内」「札幌市及びその近郊」「1～2を含む道内」の短期大学へ進学を希望する生徒は2.5ポイント上昇していた。



図Ⅱ－3 進学希望地域比較（大学）



図Ⅱ－4 進学希望地域比較（短大）

### 3 進学を決めるときに重視すること

Q 4 進学先を決めるときに重視すること，主なものを3つお答えください。

進学先を決めるときに重視することの回答については、「教育内容（学部・学科・研修内容）が自分の志望に合っていること」が，大学で938人（67.6%），短期大学で73人（62.9%）となっており，大学及び短期大学進学希望者の中で最も多い結果であった。

次いで，大学では「入試の難易度が自分の学力水準に合っていること」が827人（59.6%），「専門的スキルや資格が取得できること」が437人（31.5%），「就職に強いこと」が377人（27.2%）の順であった。

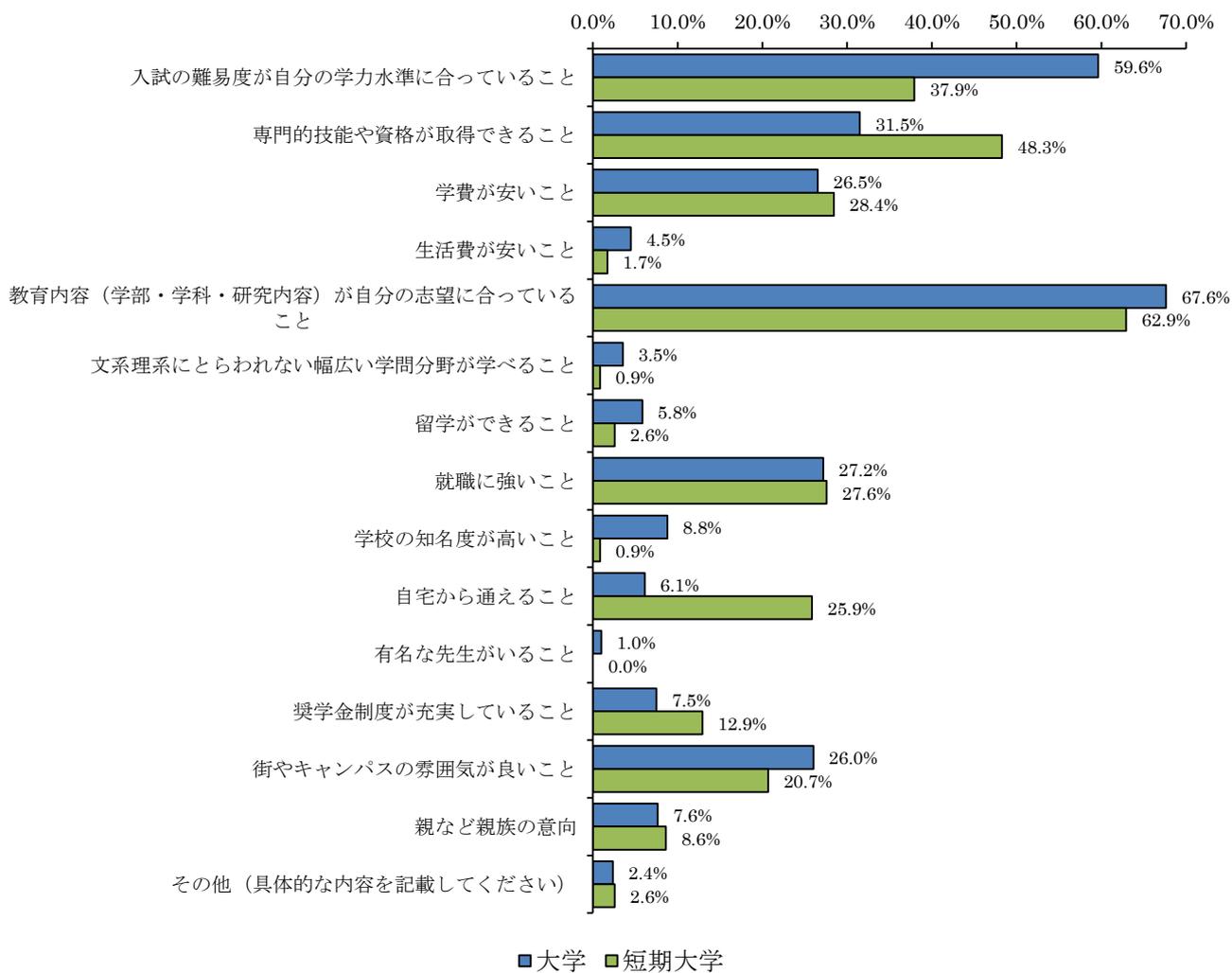
短期大学では「専門的スキルや資格が取得できること」が56人（48.3%），「入試の難易度が自分の学力水準に合っていること」が44人（37.9%），「学費が安いこと」が33人（28.4%）の順であった。

また，「専門的スキルや資格が取得できること」を選択した生徒の割合で比較すると，大学31.5%，短期大学48.3%となっていることから，短期大学進学希望者は，大学進学希望者と比較して，専門的スキルや資格の取得を重視する傾向であった。

#### 【集計結果】

表Ⅱ－3 進学先を決めるときに重視すること（単位：人）

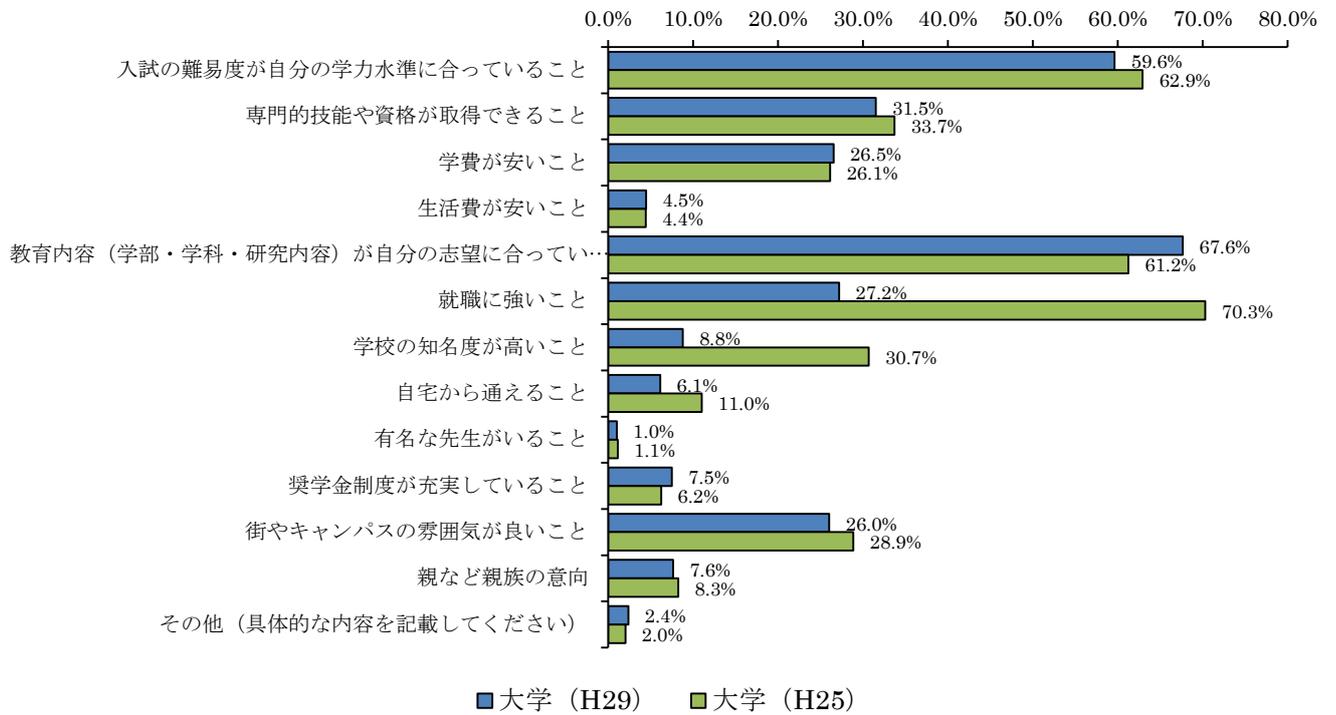
	進学先を決めるときに重視すること	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	入試の難易度が自分の学力水準に合っていること	827	59.6%	44	37.9%	871	58.0%
2	専門的スキルや資格が取得できること	437	31.5%	56	48.3%	493	32.8%
3	学費が安いこと	368	26.5%	33	28.4%	401	26.7%
4	生活費が安いこと	62	4.5%	2	1.7%	64	4.3%
5	教育内容（学部・学科・研究内容）が自分の志望に合っていること	938	67.6%	73	62.9%	1,011	67.3%
6	文系理系にとられない幅広い学問分野が学べること	49	3.5%	1	0.9%	50	3.3%
7	留学ができること	81	5.8%	3	2.6%	84	5.6%
8	就職に強いこと	377	27.2%	32	27.6%	409	27.2%
9	学校の知名度が高いこと	122	8.8%	1	0.9%	123	8.2%
10	自宅から通えること	85	6.1%	30	25.9%	115	7.7%
11	有名な先生がいること	14	1.0%	0	0.0%	14	0.9%
12	奨学金制度が充実していること	104	7.5%	15	12.9%	119	7.9%
13	街やキャンパスの雰囲気が良いこと	361	26.0%	24	20.7%	385	25.6%
14	親など親族の意向	106	7.6%	10	8.6%	116	7.7%
15	その他（具体的な内容を記載してください）	33	2.4%	3	2.6%	36	2.4%
	回答者数	1,387		116		1,503	
	未記入	12		2		14	
	合計	1,399		118		1,517	



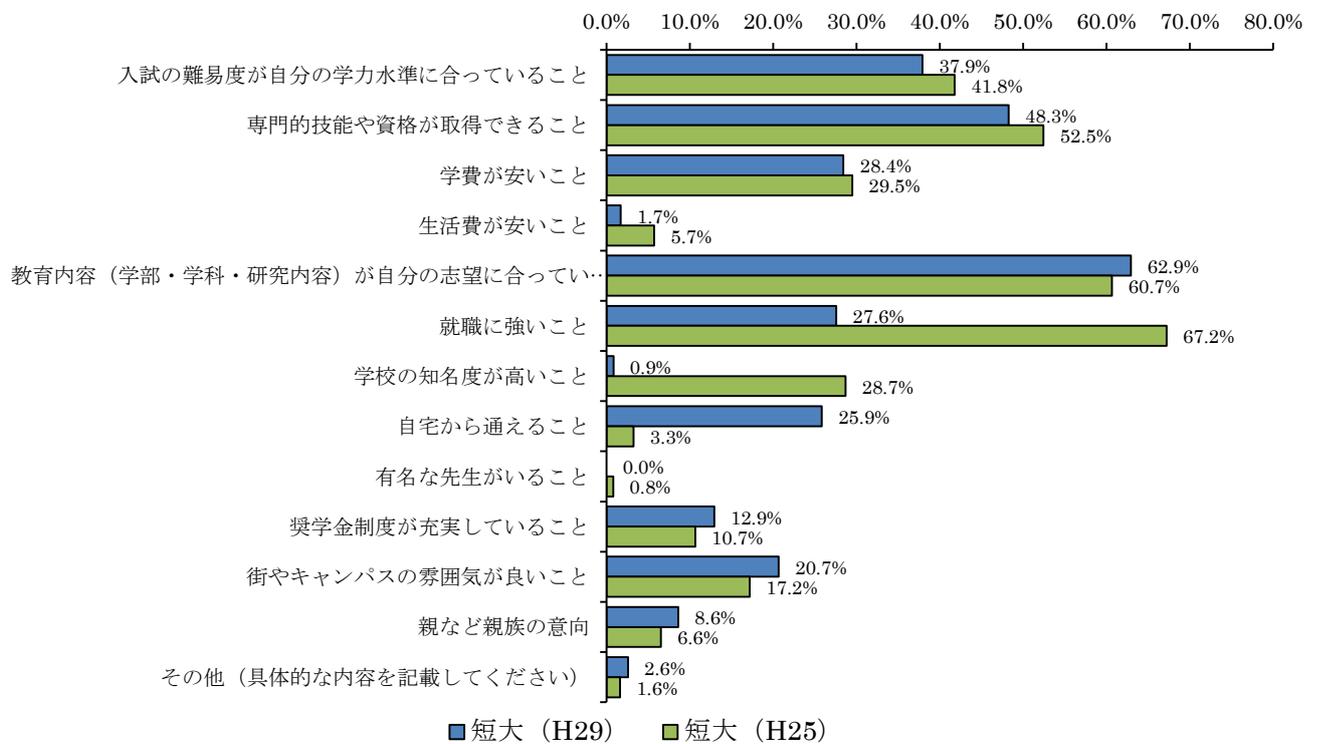
図Ⅱ－５ 進学先を決めるときに重視すること

【H25 との比較】

前回調査との比較では、大学及び短大のいずれの進学希望者についても、「就職に強いこと」「学校の知名度が高いこと」の割合が大きく減少していた。



図Ⅱ－6 進学先を決めるときに重視すること (大学)



図Ⅱ－7 進学先を決めるときに重視すること (短大)

#### 4 進学を希望する大学等の設置主体

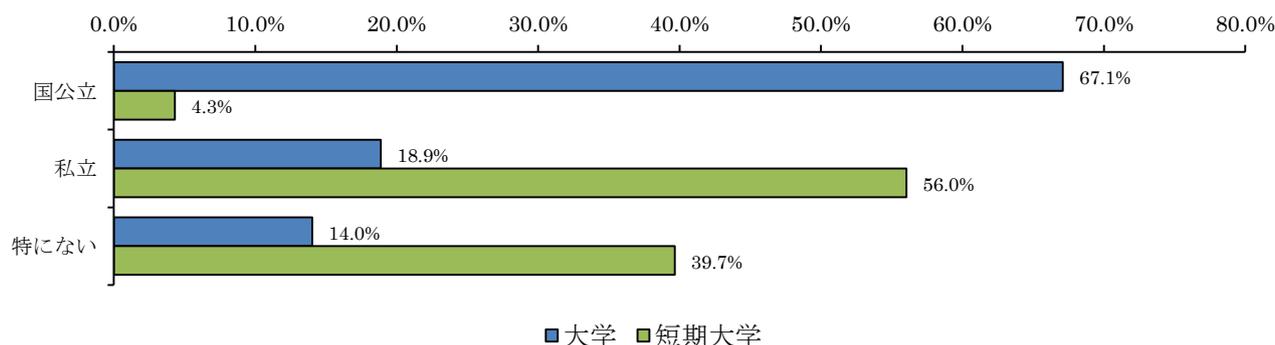
Q5 進学を希望する大学等の設置主体について1つお答えください。

進学を希望する大学等の設置主体の回答については、大学は「国公立」が 928 人 (67.1%)、「私立」が 261 人 (18.9%)、短期大学は「国公立」が 5 人 (4.3%)、「私立」が 65 人 (56.0%) であった。

#### 【集計結果】

表Ⅱ－4 進学を希望する大学等設置主体

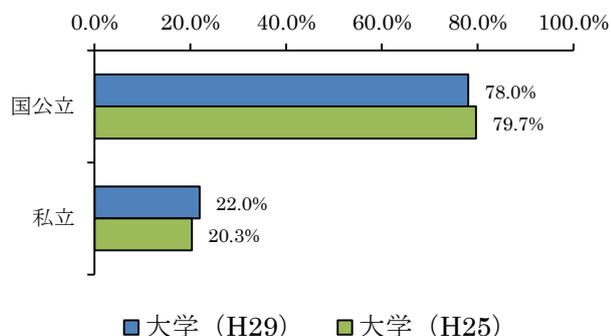
設置主体	大学		短期大学		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 国公立	928	67.1%	5	4.3%	933	62.2%
2 私立	261	18.9%	65	56.0%	326	21.7%
3 特にない	194	14.0%	46	39.7%	240	16.0%
回答者数	1,383	100.0%	116	100.0%	1,499	100.0%
未記入	16		2		18	
合計	1,399		118		1,517	



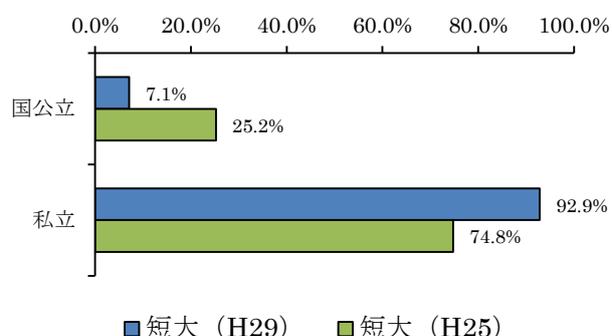
図Ⅱ－8 希望する設置主体

#### 【H25 との比較】

前回調査との比較では、短大進学希望者について、「国公立」の割合が減少していた。なお、平成 25 年度調査時では「国公立」「私立」の2択形式であったため、「特にない」を除いて比較している。



図Ⅱ－9 希望する設置主体比較 (大学)



図Ⅱ－10 希望する設置主体比較 (短大)

## 5 進学を希望する大学等の学部・学科について

Q 6 進学を希望する大学等の学部・学科について3つまでお答えください。

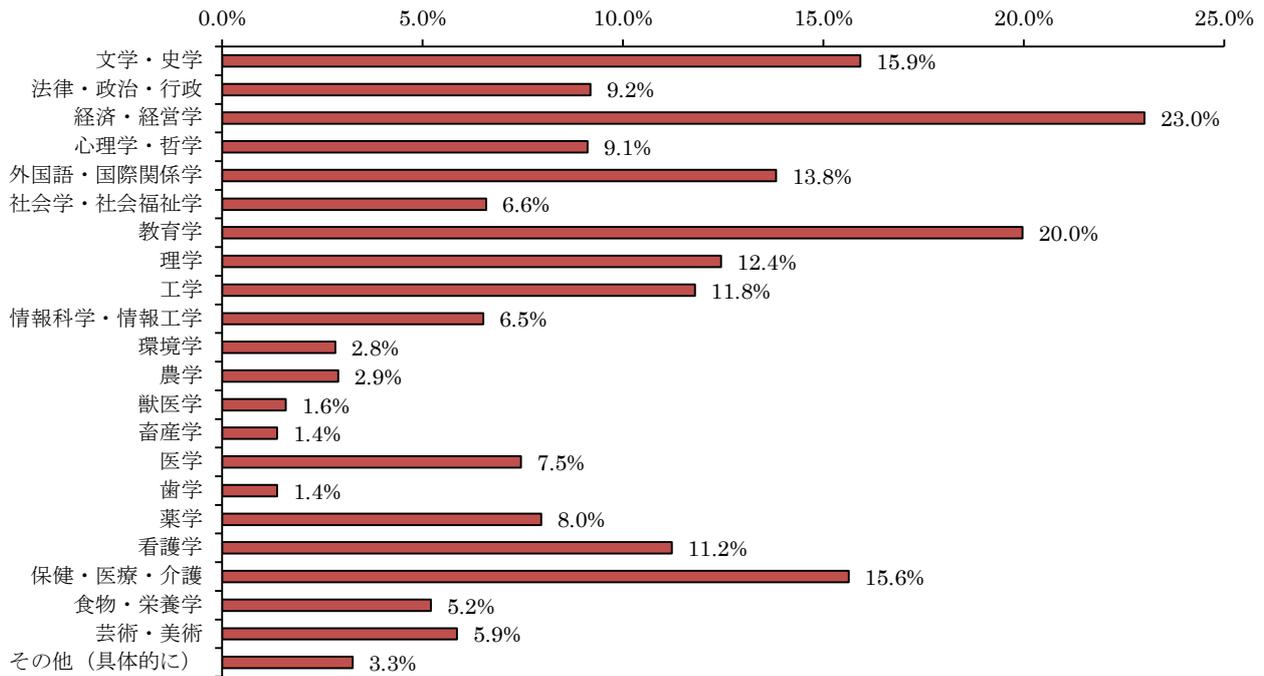
進学を希望する大学等の学部・学科の回答については、大学は「経済・経営学」が318人(23.0%)、「教育学」が276人(20.0%)、「文学・史学」が220人(15.9%)の順であった。

短期大学は、「教育学」が60人(52.6%)、「食物・栄養学」が31人(27.2%)、「保健・医療・介護」が14人(12.3%)の順であった。

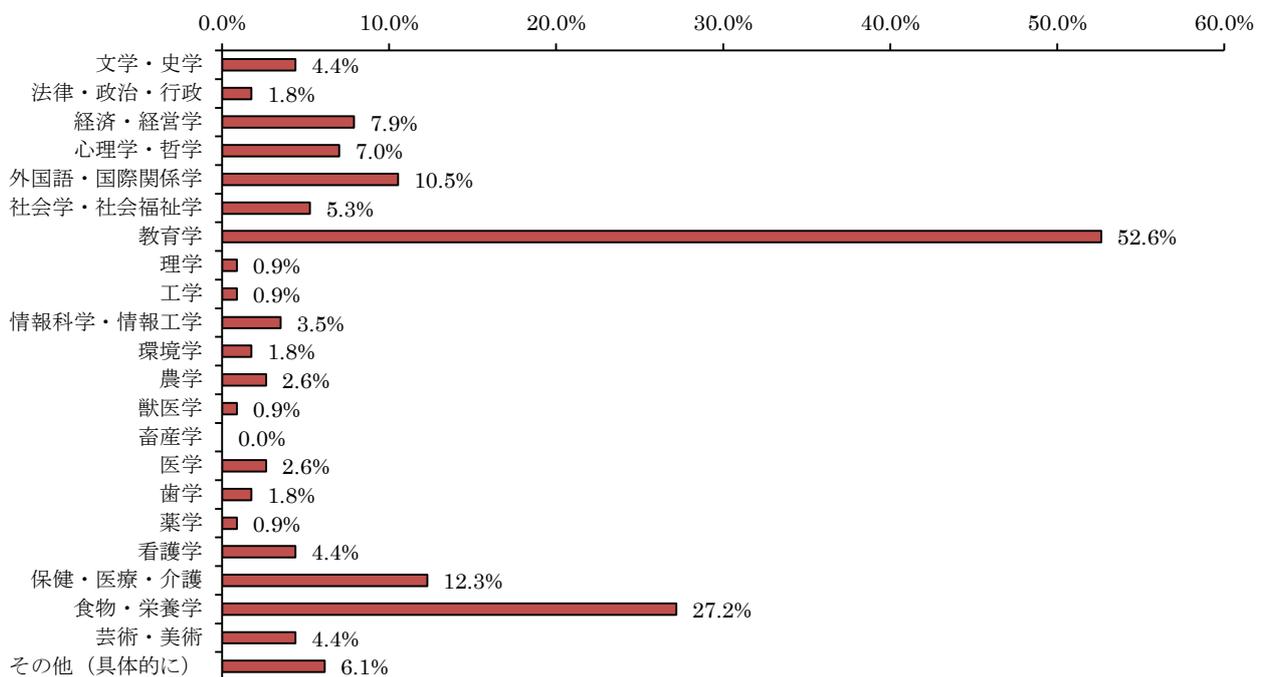
### 【集計結果】

表Ⅱ－5 進学を希望する大学等の学部・学科について(単位：人)

	学部・学科	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	文学・史学	220	15.9%	5	4.4%	225	15.0%
2	法律・政治・行政	127	9.2%	2	1.8%	129	8.6%
3	経済・経営学	318	23.0%	9	7.9%	327	21.9%
4	心理学・哲学	126	9.1%	8	7.0%	134	9.0%
5	外国語・国際関係学	191	13.8%	12	10.5%	203	13.6%
6	社会学・社会福祉学	91	6.6%	6	5.3%	97	6.5%
7	教育学	276	20.0%	60	52.6%	336	22.5%
8	理学	172	12.4%	1	0.9%	173	11.6%
9	工学	163	11.8%	1	0.9%	164	11.0%
10	情報科学・情報工学	90	6.5%	4	3.5%	94	6.3%
11	環境学	39	2.8%	2	1.8%	41	2.7%
12	農学	40	2.9%	3	2.6%	43	2.9%
13	獣医学	22	1.6%	1	0.9%	23	1.5%
14	畜産学	19	1.4%	0	0.0%	19	1.3%
15	医学	103	7.5%	3	2.6%	106	7.1%
16	歯学	19	1.4%	2	1.8%	21	1.4%
17	薬学	110	8.0%	1	0.9%	111	7.4%
18	看護学	155	11.2%	5	4.4%	160	10.7%
19	保健・医療・介護	216	15.6%	14	12.3%	230	15.4%
20	食物・栄養学	72	5.2%	31	27.2%	103	6.9%
21	芸術・美術	81	5.9%	5	4.4%	86	5.7%
22	その他	45	3.3%	7	6.1%	52	3.5%
回答者数		1,382		114		1,496	
未記入		17		4		21	
合計		1,399		118		1,517	



図Ⅱ－11 進学希望学部・学科 (大学)



図Ⅱ－12 進学希望学部・学科 (短大)

【H25 との比較】

前回調査との比較では、「看護・保健福祉学部系（医療・福祉関係）」が 3.1 ポイント減少しており、「商学・経済・社会学部系」が 5.9 ポイント上昇していた。

なお、平成 25 年度調査時において本調査項目は 1 択形式であり、また、「外国語・国際関係学」に当たる選択肢が無かったため、ここでの比較においては除いて集計している。

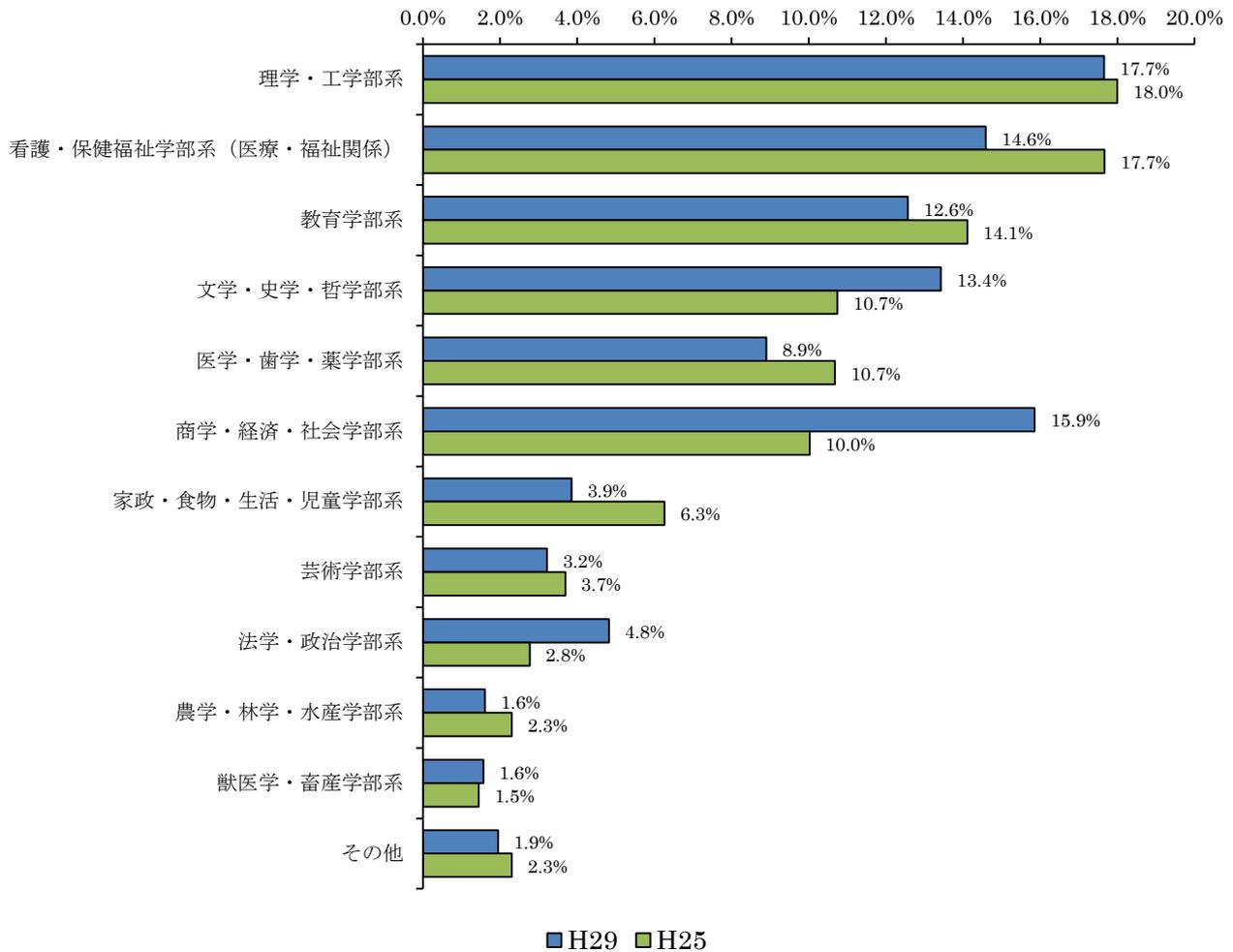


図 II - 13 進学希望学部・学科比較

## 6 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況

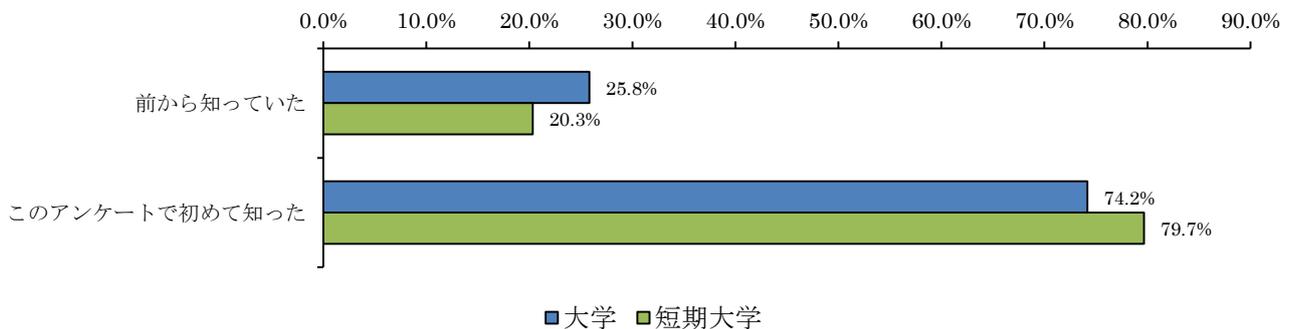
Q 7 市が旭川大学をベースにした公立大学の設置を検討していることを知っていましたか。

旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況の回答については、大学は「前から知っていた」が 353 人 (25.8%)、「このアンケートで初めて知った」が 1,013 人 (74.2%)、短期大学は「前から知っていた」が 24 人 (20.3%)、「このアンケートで初めて知った」が 94 人 (79.7%) であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ－6 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況（単位：人）

	市の検討状況	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	前から知っていた	353	25.8%	24	20.3%	377	25.4%
2	このアンケートで初めて知った	1,013	74.2%	94	79.7%	1,107	74.6%
	回答者数	1,366	100.0%	118	100.0%	1,484	100.0%
	未記入	33		0		33	
	合計	1,399		118		1,517	



図Ⅱ－14 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況

## 7 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること

Q 8 旭川に公立大学が設置された場合、何を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

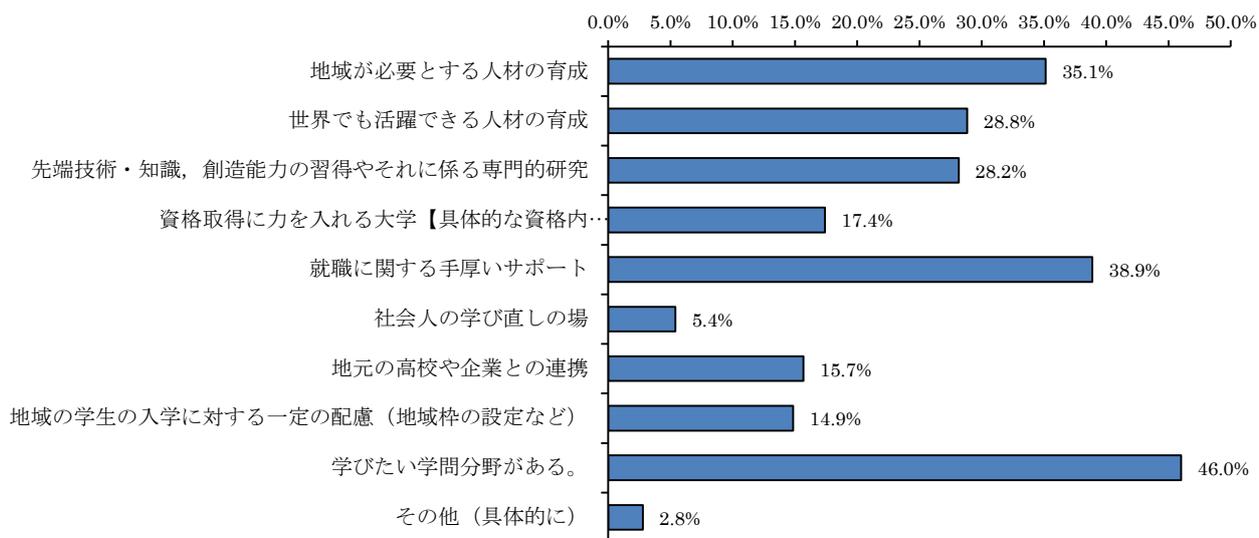
公立大学が設置された場合に期待することの回答については、大学進学を希望する生徒は「学びたい学問分野がある。」が613人(46.0%)、「就職に関する手厚いサポート」が518人(38.9%)、「地域が必要とする人材の育成」が468人(35.1%)の順であった。

また、短期大学進学を希望する生徒も「学びたい学問分野がある。」が56人(51.4%)、「就職に関する手厚いサポート」が45人(41.3%)、「地域が必要とする人材の育成」が29人(26.6%)の順になっており、加えて「資格取得に力を入れる大学」も同数の29人(26.6%)であった。

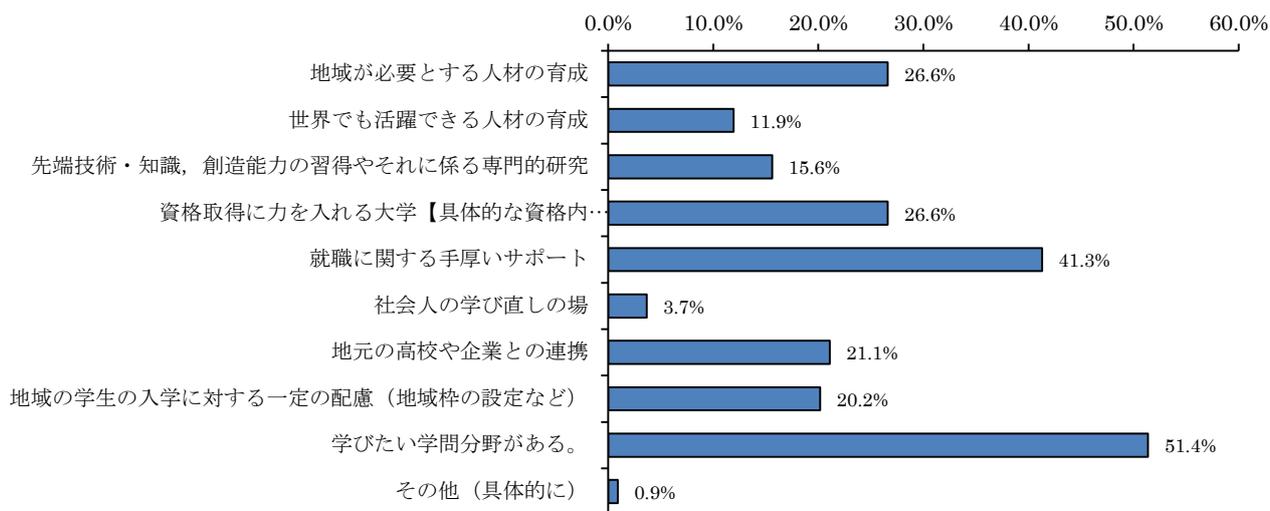
### 【集計結果】

表Ⅱ－7 公立大学が設置された場合に期待すること (単位：人)

	旭川に公立大学が設置された場合に期待すること	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	地域が必要とする人材の育成	468	35.1%	29	26.6%	497	34.5%
2	世界でも活躍できる人材の育成	384	28.8%	13	11.9%	397	27.6%
3	先端技術・知識，創造能力の習得やそれに係る専門的研究	375	28.2%	17	15.6%	392	27.2%
4	資格取得に力を入れる大学	232	17.4%	29	26.6%	261	18.1%
5	就職に関する手厚いサポート	518	38.9%	45	41.3%	563	39.1%
6	社会人の学び直しの場合	72	5.4%	4	3.7%	76	5.3%
7	地元の高校や企業との連携	209	15.7%	23	21.1%	232	16.1%
8	地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）	198	14.9%	22	20.2%	220	15.3%
9	学びたい学問分野がある。	613	46.0%	56	51.4%	669	46.4%
10	その他（具体的に ）	37	2.8%	1	0.9%	38	2.6%
	回答者数	1,332		109		1,441	
	未記入	67		9		76	
	合計	1,399		118		1,517	



図Ⅱ－15 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること（大学）



図Ⅱ－16 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること（短大）

## 8 ものづくり系学部等の考えについて

Q9 調査票の文頭でも触れましたが、現在検討している旭川大学をベースにした公立大学での、ものづくり系学部等の考えについてどう思いますか。

ものづくり系学部の案についての回答については、大学進学を希望する生徒は「良い」が 538 人 (40.1%)、「概ね良い」が 275 人 (20.5%) であった。一方、「良くない」は 18 人 (1.3%)、「あまり良くない」は 37 人 (2.8%) であった。なお、「どちらとも言えない」は 225 人 (16.8%) であった。

また、短期大学進学を希望する生徒は「良い」が 45 人 (41.3%)、「概ね良い」が 15 人 (13.8%) であった。一方、「良くない」は 0 人 (0.0%)、「あまり良くない」は 2 人 (1.8%) であった。なお、「どちらとも言えない」は 21 人 (19.3%) であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ－8 ものづくり系学部の案について (単位：人)

	ものづくり系学部の案について	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	良い	538	40.1%	45	41.3%	583	40.2%
2	概ね良い	275	20.5%	15	13.8%	290	20.0%
3	どちらとも言えない	225	16.8%	21	19.3%	246	17.0%
4	あまり良くない	37	2.8%	2	1.8%	39	2.7%
5	良くない	18	1.3%	0	0.0%	18	1.2%
6	わからない	249	18.6%	26	23.9%	275	19.0%
回答者数		1,342	100.0%	109	100.0%	1,451	100.0%
未記入		57		9		66	
合 計		1,399		118		1,517	

ものづくり系学部の案について	主な自由意見
1. 良い + 2. 概ね良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立大学は選択肢が増えると思うので、もし公立になったらうれしい人もいます。</li> <li>・ 旭川で栄養士の資格を取れてその道に進める大学は、旭大の短大しかないので、私みたいに旭川で栄養士になりたい人にはとてもありがたい。</li> <li>・ 幅広い分野での学習ができることは良いと思ったから。</li> <li>・ 旭川を出なくても学びたい分野があれば通えるから。</li> <li>・ 地元で就職する人が増えて、人口流出（働き世代の減少）を防ぐことができる。</li> <li>・ 東海大のデザイン工学の代わりとして、旭川市の家具づくりを発展するものになれば良いと思う。</li> <li>・ 工学部を主体とした日本の技術力を上げることが必要だと思うから。</li> <li>・ 家具だったり、自然だったり、他の地域にはない強みだと思うので、上手に生かされると良いと思います。</li> <li>・ ものづくり系の学部は北海道の大学はあまりないのでよいと思います。また、教師の資格が取れるようなカリキュラムをつくと良いと思います。</li> <li>・ 今の旭川ではデザインを学べるところがあまりないから。</li> <li>・ 旭川は農業や工業の高校はあるし、旭川家具など世界に対抗できるものがあるのに、学べる大学が今までなく、受けつぎにくい状態だと思っていたから。</li> <li>・ この地域から新たに良いモノが生み出されたら北海道の魅力がより他地方の方に認識してもらえるだろうから。</li> <li>・ 今後の旭川を支える（経済的にも・文化的にも）人材育成のためのより専門的な学部が欲しい。専門学校でできることは当たり前でできて、さらにその先の教育が必要。</li> <li>・ 自然が豊かでこの地域の特色を活かした良い学部ができそう。</li> <li>・ 旭川においてもものづくり系学部の設置はよいことだと思う。大学のレベルもある程度上げるべきだと思う。</li> </ul>
3. どちらとも言えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旭川であるからこそその強みがあれば良いと思う</li> <li>・ 私が目指している進路とは違うから。やるのだとすれば旭川家具との連携など、旭川大学でしかできない特別な魅力を出すべきでは。</li> <li>・ 工業高校などの生徒さんには良いと思います。しかし、進学校の生徒さんの市外流出は防げないと思います。</li> <li>・ 旭工高からの進学が増えそうで良いと思う。</li> <li>・ ものづくりに興味がない。</li> <li>・ 道外での就職がきびしいと思うから。</li> <li>・ 具体性にとぼしい。</li> </ul>

ものづくり系学部の案について	主な自由意見
4. あまり良くない+ 5. 良くない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり系を希望して大学へ進学する人は少ないと思う。</li> <li>・ものづくりに特化する必要は無いと思う。幅広い学問を学べるようにしたうえで、ものづくりの学部が得意なのが良い。</li> <li>・ものづくり系だけではなく、看護系も入れてほしい。</li> <li>・これからは、機械がものづくりをする未来が見えていて、需要がなくなるため、人間にしかできないような仕事が求められているため、いらぬ。</li> <li>・もっと社会系や外国語をベースにすべき。</li> <li>・新しい旭川の公立大学必要だと思っている人が多くないのではないのでしょうか。(需要はあるのですか)</li> <li>・レベルがそこまで高くなさそうだから。</li> <li>・興味がないから。</li> </ul>
6. わからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部とかとの違いが分からない。</li> <li>・興味ないから。</li> <li>・高専もあるし、それで人が増えるかと言ったら微妙。</li> </ul>

## 9 旭川大学をベースにした公立大学が進学先の対象としてなり得るか

Q10 旭川大学をベースにした公立大学が設置された場合、進学先の対象としてなり得ますか。

進学先の対象になり得るかの回答については、大学進学を希望する生徒は「ならない」が 664 人 (49.8%), 「なる」が 354 人 (26.6%), 「わからない」が 314 人 (23.6%) の順であった。

一方、短期大学進学を希望する生徒は「なる」が 51 人 (47.2%), 「わからない」が 33 人 (30.6%), 「ならない」が 24 人 (22.2%) の順であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ－9 進学先の対象となり得るか (単位：人)

	進学先の対象になり得るか	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	なる	354	26.6%	51	47.2%	405	28.1%
2	ならない	664	49.8%	24	22.2%	688	47.8%
3	わからない	314	23.6%	33	30.6%	347	24.1%
回答者数		1,332	100.0%	108	100.0%	1,440	100.0%
未記入		67		10		77	
合計		1,399		118		1,517	

表Ⅱ－10 進学先の対象となる理由 (単位：人)

	進学先の対象となる理由	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1-1	地元の公立大学だから	268	79.3%	26	54.2%	294	76.2%
1-2	学びたい内容があるから	59	17.5%	20	41.7%	79	20.5%
1-3	その他 (具体的な内容を記載してください)	11	3.3%	2	4.2%	13	3.4%
回答者数		338	100.0%	48	100.0%	386	100.0%
未記入		16		3		19	
合計		354		51		405	

表Ⅱ－11 進学先の対象とならない理由 (単位：人)

	進学先の対象とならない理由	大学		短期大学		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
2-1	地元の進学を考えていないから	270	42.7%	4	18.2%	274	41.8%
2-2	学びたい内容がないから	306	48.3%	17	77.3%	323	49.3%
2-3	その他 (具体的な内容を記載してください)	57	9.0%	1	4.5%	58	8.9%
回答者数		633	100.0%	22	100.0%	655	100.0%
未記入		31		2		33	
合計		664		24		688	

## 10 就職を希望する（仕事をしたい）地域について

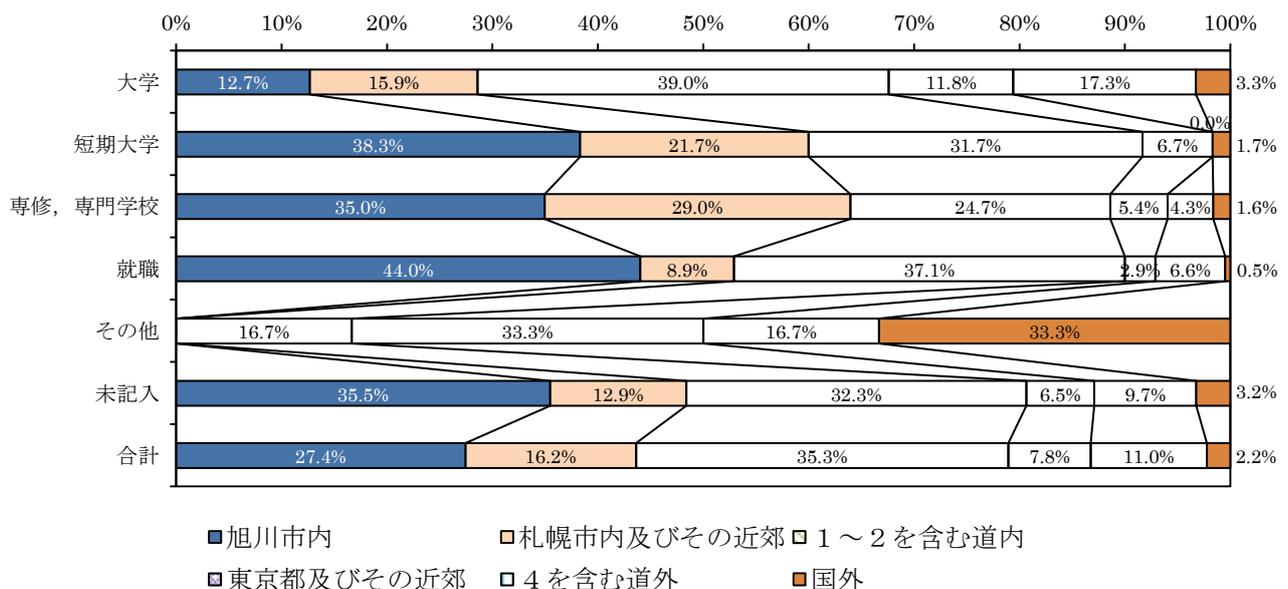
Q11 就職を希望する（仕事をしたい）地域を1つお答えください。

就職を希望する地域の回答については、「旭川市内」が553人（27.4%）、「札幌市内及びその近郊」が326人（16.2%）、「旭川市、札幌市及びその近郊を含む道内」が712人（35.3%）、「東京都及びその近郊」が157人（7.8%）、「東京都及びその郊外を含む道外」が222人（11.0%）、「国外」が45人（2.2%）となっていることから、道内に就職を希望する傾向であった。

### 【集計結果】

表Ⅱ-12 就職を希望する地域（単位：人）

就職希望地域	大学		短期大学		専修，専門学校		就職		その他		未記入		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 旭川市内	117	12.7%	23	38.3%	129	35.0%	273	44.0%	0	0.0%	11	35.5%	553	27.4%
2 札幌市内及びその近郊	147	15.9%	13	21.7%	107	29.0%	55	8.9%	0	0.0%	4	12.9%	326	16.2%
3 1～2を含む道内	360	39.0%	19	31.7%	91	24.7%	230	37.1%	2	16.7%	10	32.3%	712	35.3%
4 東京都及びその近郊	109	11.8%	4	6.7%	20	5.4%	18	2.9%	4	33.3%	2	6.5%	157	7.8%
5 4を含む道外	160	17.3%	0	0.0%	16	4.3%	41	6.6%	2	16.7%	3	9.7%	222	11.0%
6 国外	30	3.3%	1	1.7%	6	1.6%	3	0.5%	4	33.3%	1	3.2%	45	2.2%
回答者数	923	100.0%	60	100.0%	369	100.0%	620	100.0%	12	100.0%	31	100.0%	2,015	100.0%
未記入	476		58		45		21		1		22		623	
合計	1,399		118		414		641		13		53		2,638	



図Ⅱ-17 就職を希望する地域

## 11 職業を選択するときに重視すること

Q12 職業を選択するときに重視すること、主なものを3つお答えください。

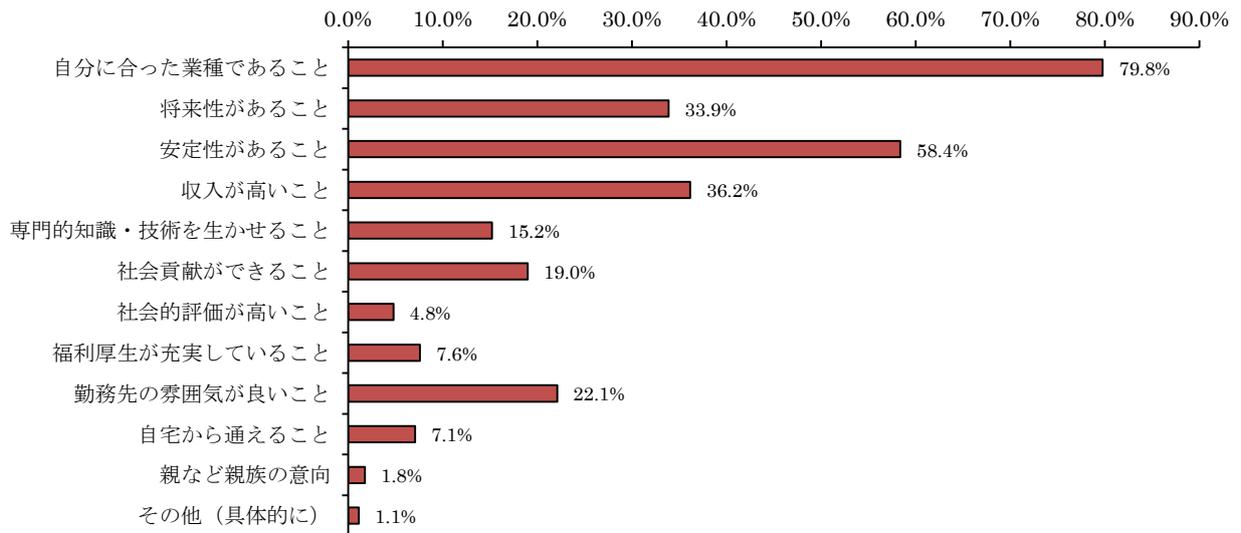
職業を選択するときに重視することの回答については、全体では「自分に合った業種であること」が1,596人(76.8%)、「安定性があること」が1,176人(56.6%)を選択する生徒の割合が高い結果であり、進路選択別で見ても「その他」を除いたいずれの場合においても同様の結果であった。

以下、大学では、「収入が高いこと」が347人(36.2%)、「将来性があること」が325人(33.9%)の順になっており、短期大学では、「将来性があること」が24人(36.9%)、「勤務先の雰囲気が良いこと」が20人(30.8%)の順になっている。また、専修・専門学校では、「収入が高いこと」及び「将来性があること」が131人(35.4%)、「専門的知識・技術を生かせること」が110人(29.7%)の順であり、就職では、「収入が高いこと」240人(37.9%)、「勤務先の雰囲気が良いこと」が227人(35.8%)の順であった。

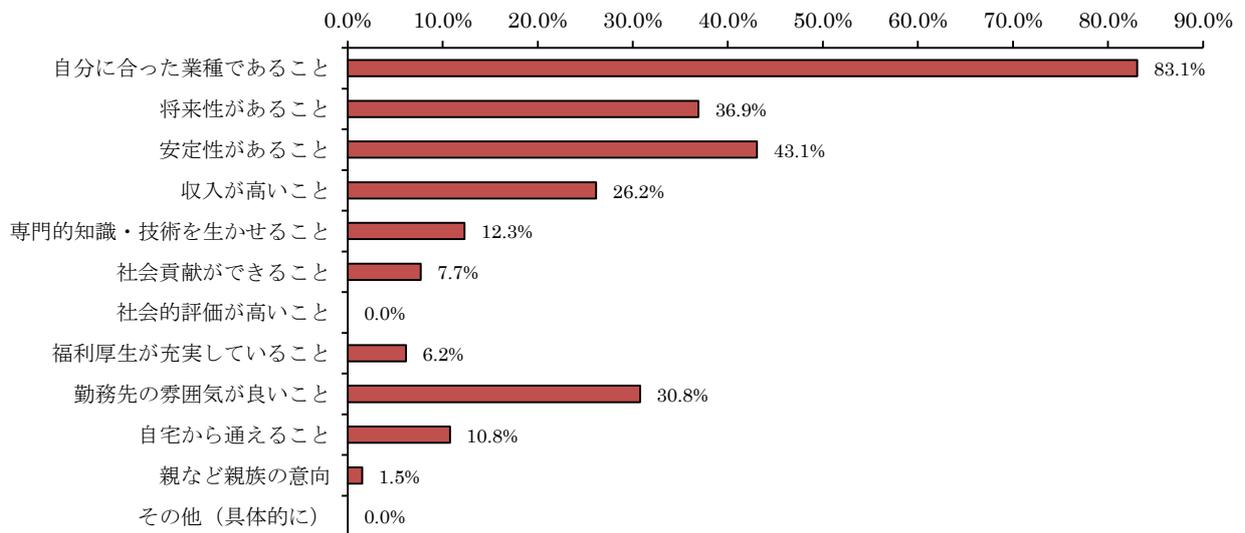
### 【集計結果】

表Ⅱ-13 職業を選択するときに重視すること(単位:人)

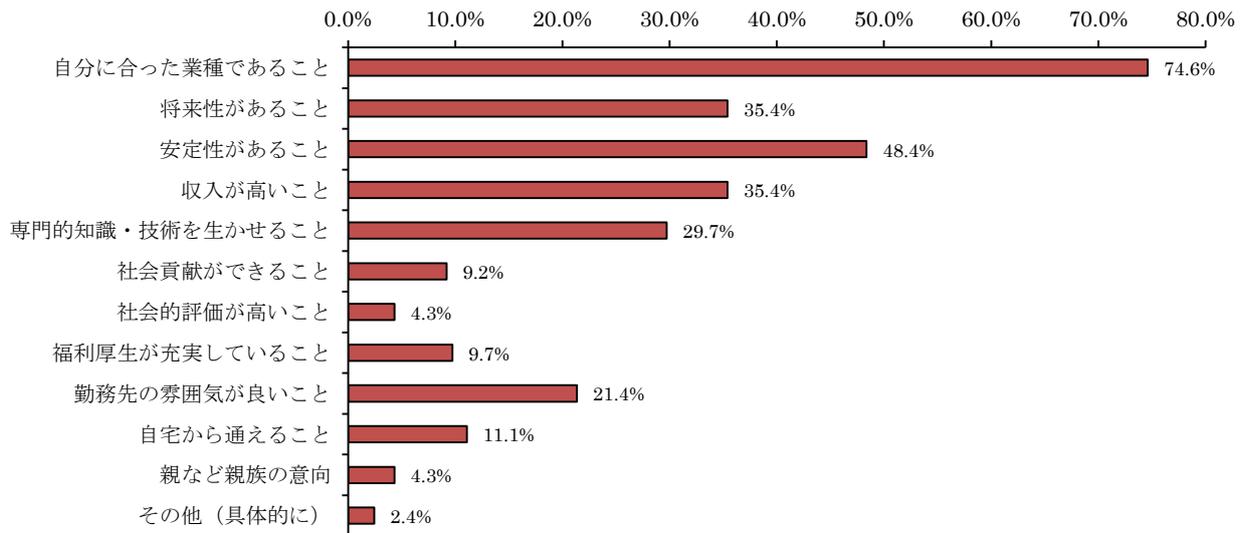
	職業を選択するときに重視すること	大学		短期大学		専修, 専門学校		就職		その他		未記入		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	自分に合った業種であること	765	79.8%	54	83.1%	276	74.6%	461	72.7%	10	83.3%	30	81.1%	1,596	76.8%
2	将来性があること	325	33.9%	24	36.9%	131	35.4%	123	19.4%	5	41.7%	11	29.7%	619	29.8%
3	安定性があること	560	58.4%	28	43.1%	179	48.4%	385	60.7%	3	25.0%	21	56.8%	1,176	56.6%
4	収入が高いこと	347	36.2%	17	26.2%	131	35.4%	240	37.9%	4	33.3%	19	51.4%	758	36.5%
5	専門的知識・技術を生かせること	146	15.2%	8	12.3%	110	29.7%	59	9.3%	2	16.7%	3	8.1%	328	15.8%
6	社会貢献ができること	182	19.0%	5	7.7%	34	9.2%	84	13.2%	2	16.7%	1	2.7%	308	14.8%
7	社会的評価が高いこと	46	4.8%	0	0.0%	16	4.3%	24	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	86	4.1%
8	福利厚生が充実していること	73	7.6%	4	6.2%	36	9.7%	129	20.3%	0	0.0%	1	2.7%	243	11.7%
9	勤務先の雰囲気が良いこと	212	22.1%	20	30.8%	79	21.4%	227	35.8%	1	8.3%	10	27.0%	549	26.4%
10	自宅から通えること	68	7.1%	7	10.8%	41	11.1%	79	12.5%	0	0.0%	2	5.4%	197	9.5%
11	親など親族の意向	17	1.8%	1	1.5%	16	4.3%	21	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	55	2.6%
12	その他(具体的に)	11	1.1%	0	0.0%	9	2.4%	11	1.7%	3	25.0%	4	10.8%	38	1.8%
	回答者数	959	100.0%	65	100.0%	370	100.0%	634	100.0%	12	100.0%	37	100.0%	2,077	100.0%
	未記入	440		53		44		7		1		16		561	
	合計	1,399		118		414		641		13		53		2,638	



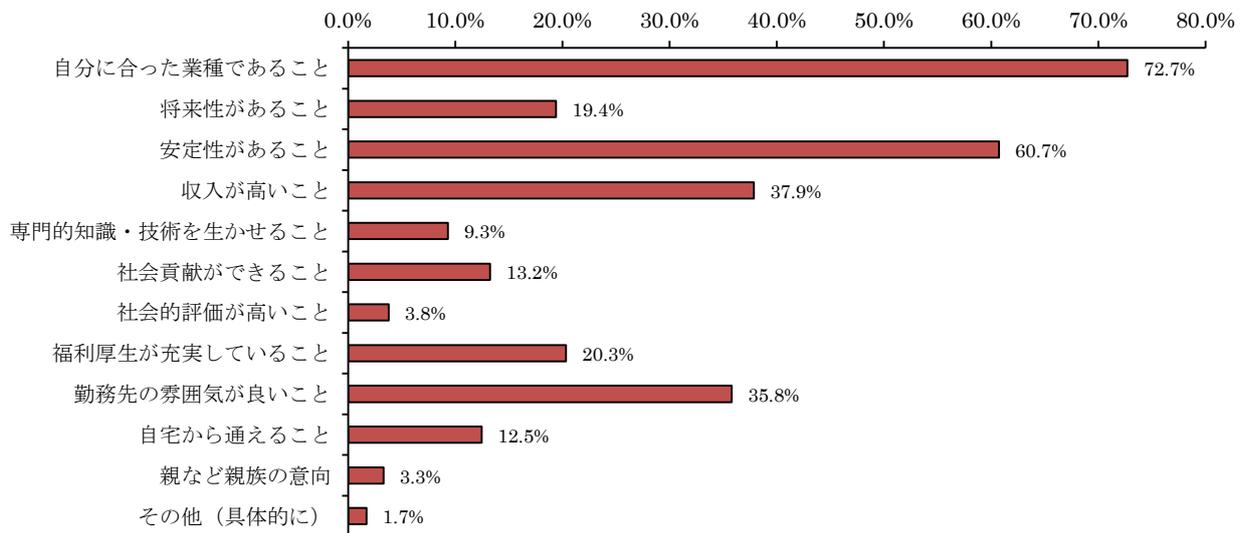
図Ⅱ－18 職業を選択するときに重視すること（大学）



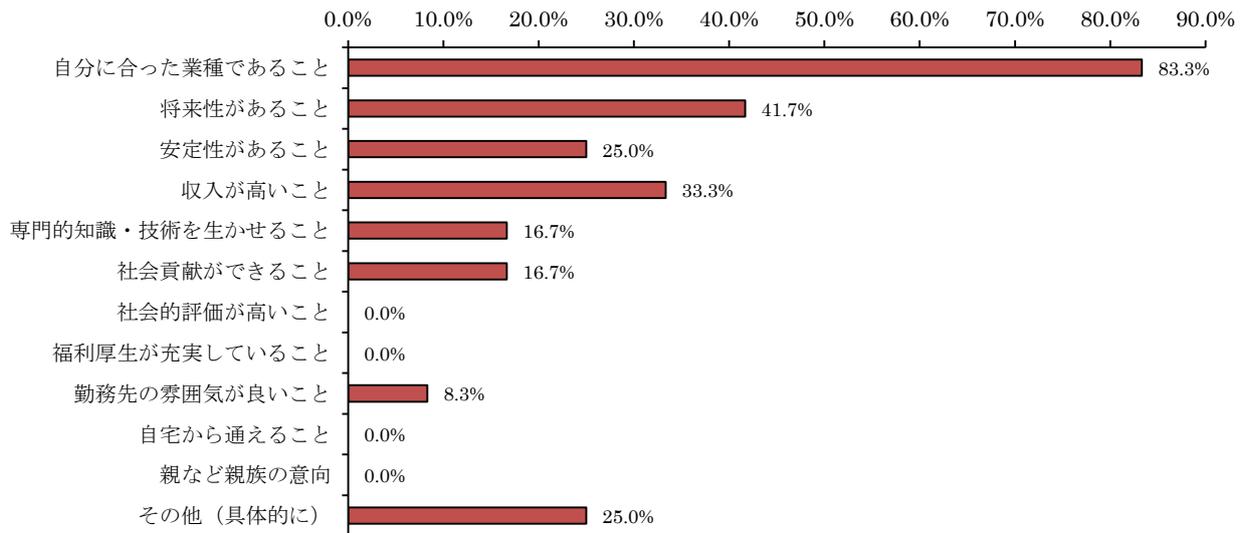
図Ⅱ－19 職業を選択するときに重視すること（短大）



図Ⅱ-20 職業を選択するときに重視すること（専修・専門学校）



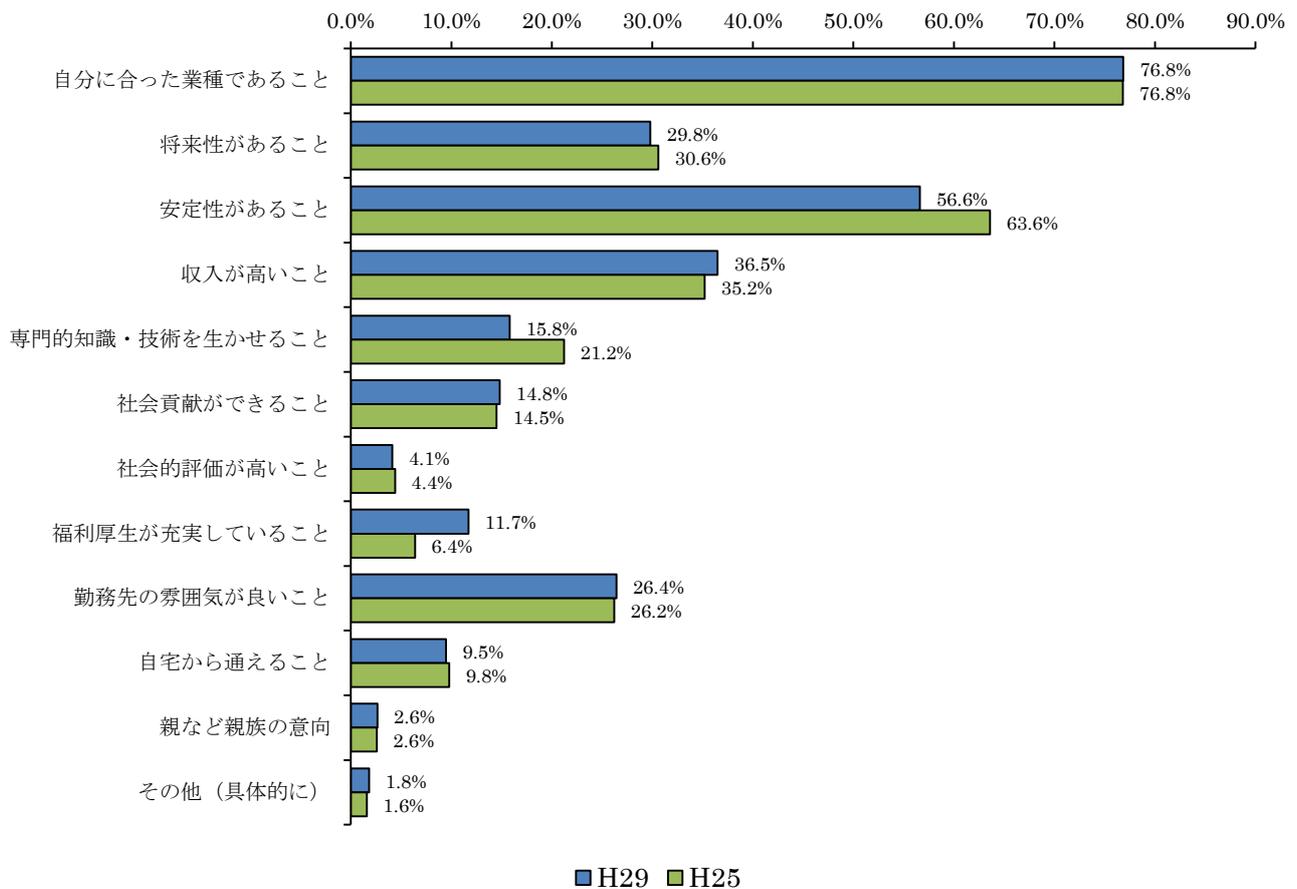
図Ⅱ-21 職業を選択するときに重視すること（就職）



図Ⅱ－22 職業を選択するときに重視すること（その他）

【H25 との比較】

前回調査との比較では、職業を選択するときに重視することに大きな差は見られなかった。



図Ⅱ－23 職業を選択するときに重視すること（比較）

## 12 将来つきたい業種、職業について

Q13 将来つきたい業種、職業について1つお答えください。

将来つきたい業種、職業の回答については、大学は、「医療関係」が213人(23.9%)、「教員、保育士、塾講師」が141人(15.8%)、「公務員」が131人(14.7%)の順になっており、短期大学は、「教員、保育士、塾講師」が36人(56.3%)、「その他(航空関係、栄養士など)」が9人(14.1%)、「公務員」が4人(6.3%)の順であった。

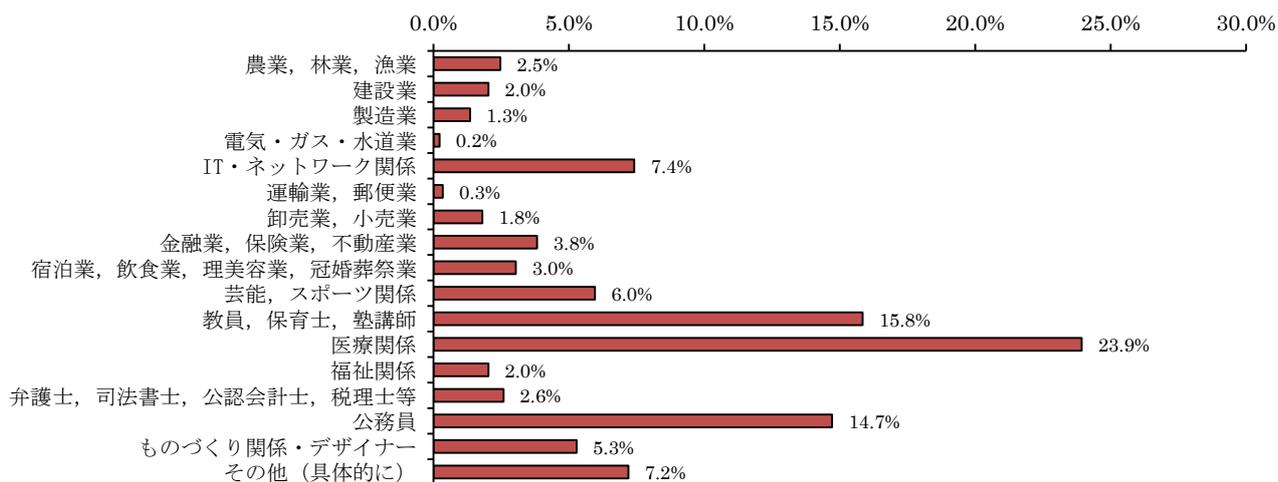
また、専修・専門学校では、「医療関係」が147人(40.6%)、「宿泊業、飲食業、理美容業、冠婚葬祭業」が57人(15.7%)、「その他(航空関係、動物関係、自動車整備士など)」が39人(10.8%)の順になっており、就職では、「公務員」が149人(24.4%)、「製造業」が64人(10.5%)、「その他(事務職、自動車整備士、アパレルなど)」が52人(8.5%)の順であった。

進学・就職関わらず、全体では医療関係」が376人(19.1%)、「公務員」が307人(15.6%)、「教員、保育士、塾講師」が192人(9.7%)の順であった。

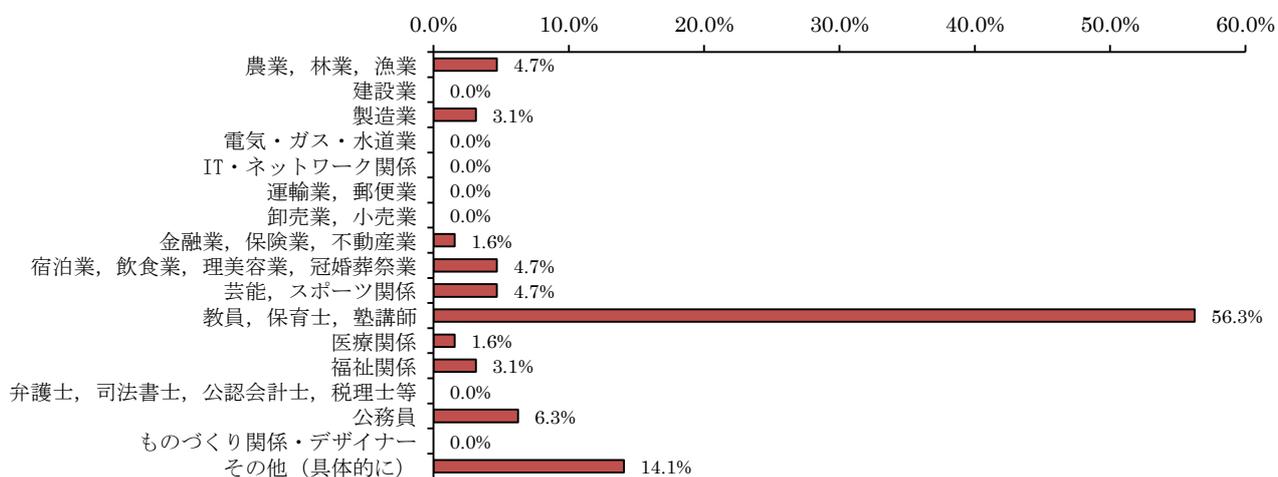
### 【集計結果】

表Ⅱ-14 将来つきたい業種、職業について(単位:人)

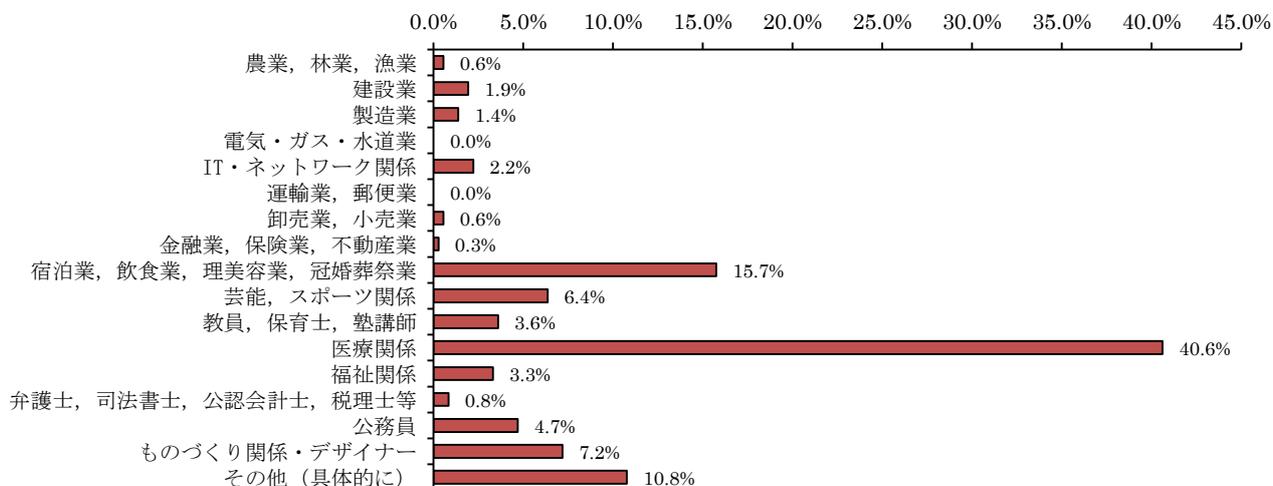
	将来つきたい業種、職業について	大学		短期大学		専修、専門学校		就職		その他		未記入		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	農業、林業、漁業	22	2.5%	3	4.7%	2	0.6%	27	4.4%	0	0.0%	1	3.1%	55	2.8%
2	建設業	18	2.0%	0	0.0%	7	1.9%	49	8.0%	0	0.0%	0	0.0%	74	3.8%
31	製造業	12	1.3%	2	3.1%	5	1.4%	64	10.5%	0	0.0%	2	6.3%	85	4.3%
32	電気・ガス・水道業	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	37	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	39	2.0%
4	IT・ネットワーク関係	66	7.4%	0	0.0%	8	2.2%	20	3.3%	0	0.0%	4	12.5%	98	5.0%
5	運輸業、郵便業	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	9	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	12	0.6%
6	卸売業、小売業(総合商社、百貨店、デパートなど)	16	1.8%	0	0.0%	2	0.6%	40	6.5%	0	0.0%	3	9.4%	61	3.1%
7	金融業、保険業、不動産業	34	3.8%	1	1.6%	1	0.3%	35	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	71	3.6%
8	宿泊業、飲食業、理美容業、冠婚葬祭業	27	3.0%	3	4.7%	57	15.7%	45	7.4%	0	0.0%	2	6.3%	134	6.8%
9	芸能、スポーツ関係	53	6.0%	3	4.7%	23	6.4%	20	3.3%	5	45.5%	1	3.1%	105	5.3%
10	教員、保育士、塾講師	141	15.8%	36	56.3%	13	3.6%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	192	9.7%
11	医療関係	213	23.9%	1	1.6%	147	40.6%	11	1.8%	1	9.1%	3	9.4%	376	19.1%
12	福祉関係	18	2.0%	2	3.1%	12	3.3%	12	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	44	2.2%
13	弁護士、司法書士、公認会計士など	23	2.6%	0	0.0%	3	0.8%	2	0.3%	0	0.0%	1	3.1%	29	1.5%
14	公務員	131	14.7%	4	6.3%	17	4.7%	149	24.4%	1	9.1%	5	15.6%	307	15.6%
15	ものづくり関係・デザイナー	47	5.3%	0	0.0%	26	7.2%	37	6.1%	0	0.0%	1	3.1%	111	5.6%
16	16. その他(具体的に)	64	7.2%	9	14.1%	39	10.8%	52	8.5%	4	36.4%	9	28.1%	177	9.0%
回答者数		890	100.0%	64	100.0%	362	100.0%	611	100.0%	11	100.0%	32	100.0%	1,970	100.0%
未記入		509		54		52		30		2		21		668	
合計		1,399		118		414		641		13		53		2,638	



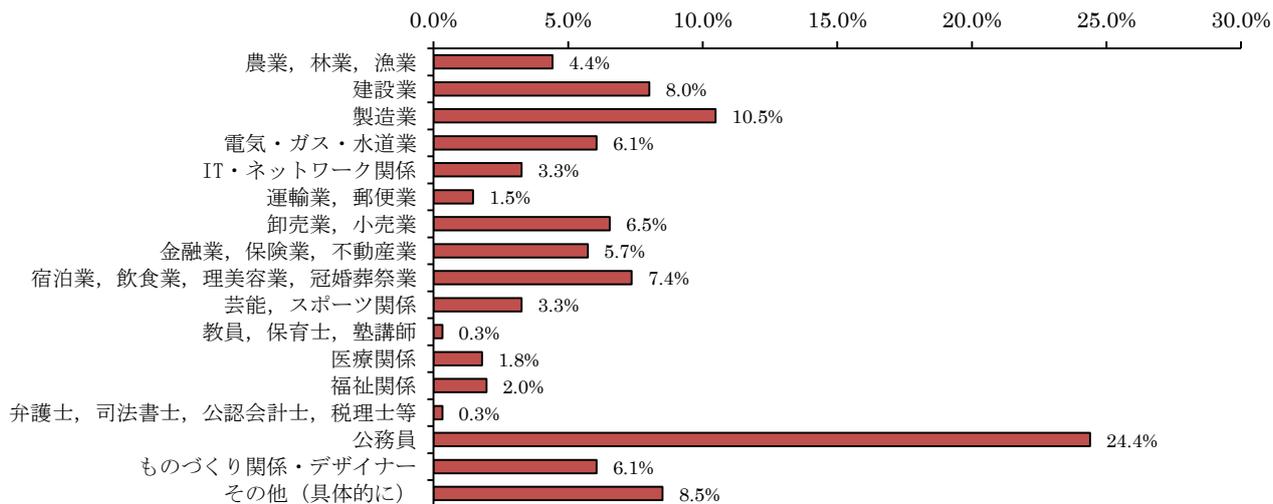
図Ⅱ-24 将来つきたい業種、職業について（大学）



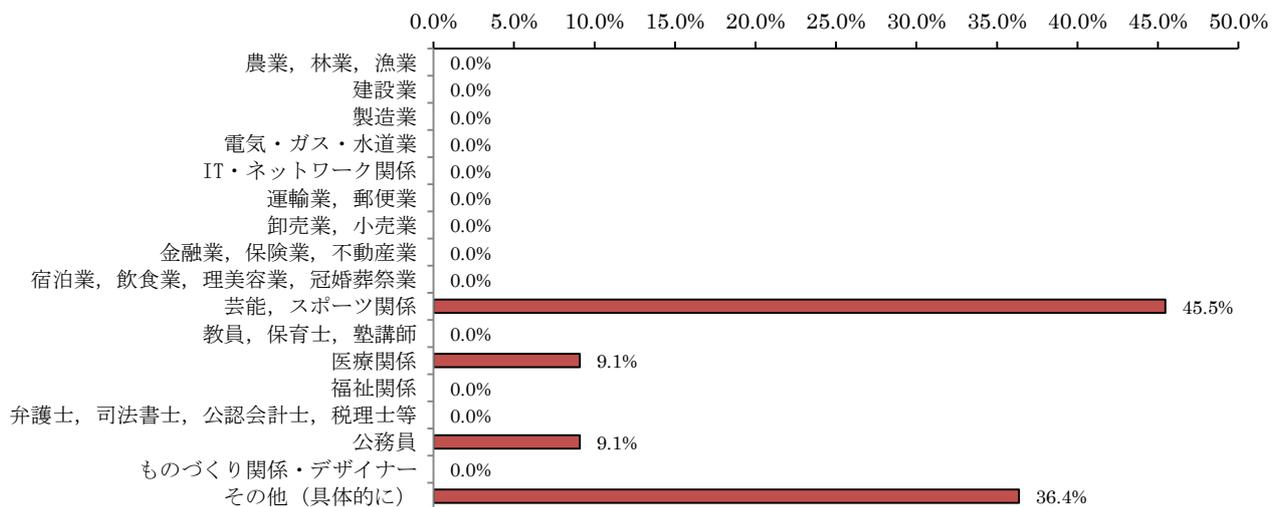
図Ⅱ-25 将来つきたい業種、職業について（短大）



図Ⅱ-26 将来つきたい業種、職業について（専修・専門学校）



図Ⅱ-27 将来つきたい業種, 職業について (就職)

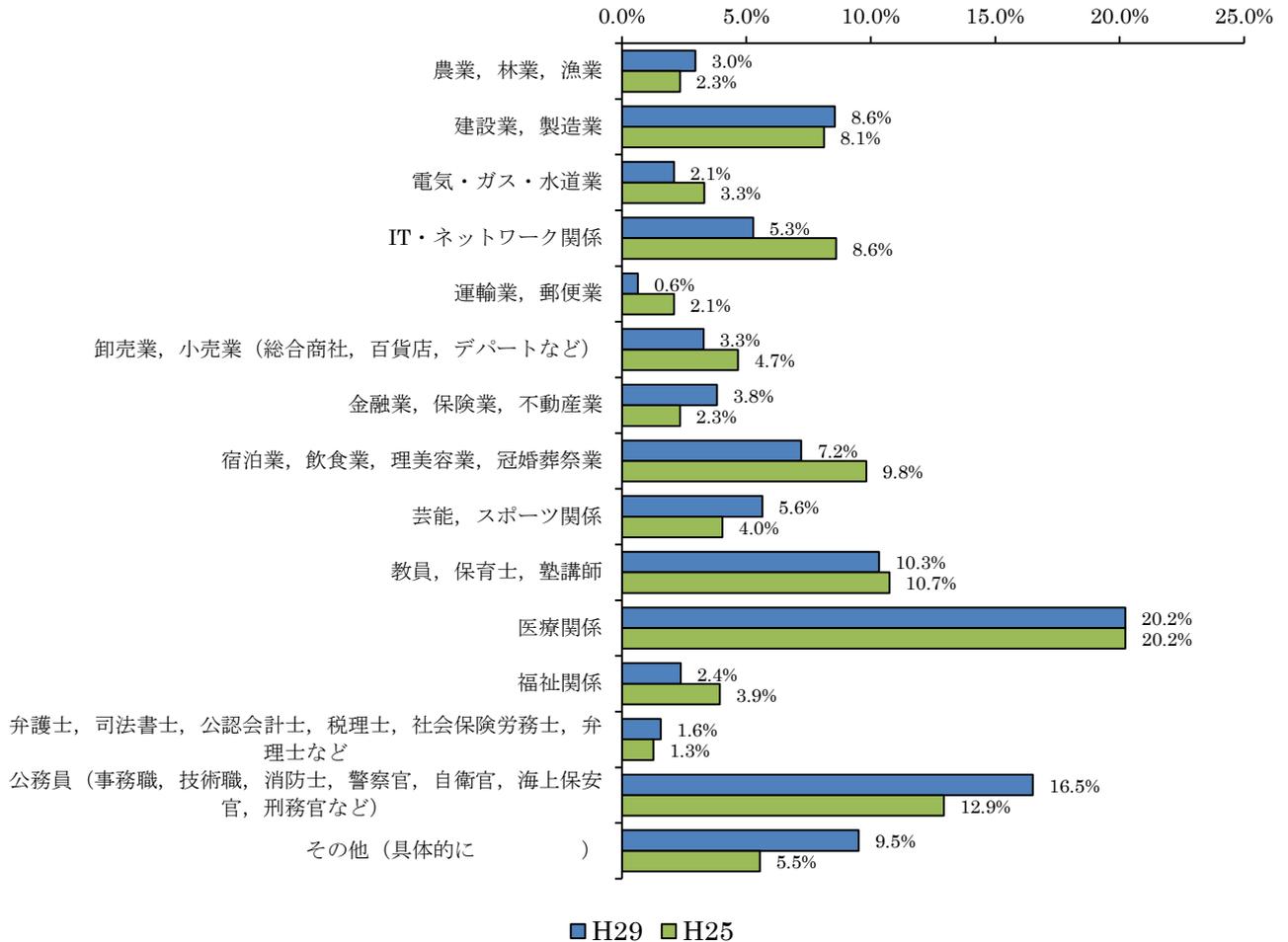


図Ⅱ-28 将来つきたい業種, 職業について (その他)

【H25 との比較】

前回調査との比較では、将来つきたい業種、職業について大きな差は見られなかった。

なお、平成 25 年度調査時においては、「IT・ネットワーク関係」を「情報通信業」として、「芸能・スポーツ関係」を「娯楽業」として集計しており、また、「ものづくり関係・デザイナー」に当たる選択肢が無かったため、ここでの比較においては除いて集計している。



図Ⅱ-29 将来つきたい業種、職業について（比較）

### 13 旭川市における大学、短大、専門学校等についての意見

Q14 旭川市における大学、短大、専門学校等について御意見がありましたら記入してください。

#### 主な自由意見

##### 【公立大学全般に関すること】

- ・進学できるような学校が少ないため札幌近郊などの都会へ行く人が多いと思う。人口減少に繋がる。
- ・大学が建てられるにあたって、旭川市が栄えるようになってほしいです。
- ・旭川をもう一度活性化するためにも、街付近に建設すればよいと思います。(街中の活性化も大切)
- ・選択肢が広がるので、公立大学建設はとても良いと思う。
- ・旭川に中堅レベルの大学があったらなああって思っていたので、驚きとともに安心しました。私の世代では間に合わないのですが、これから進学を考えている人にはとてもよいことではないでしょうか。
- ・全国から学生が集まってきそうな大学にしてほしい。地域産業を発展させる基盤となってほしい。
- ・旭川は家具などに強いイメージがあるので、ぜひものづくり系学科を新設して、地域の活性化に貢献してほしいです。
- ・地域に根ざした教育を重視することが必要だと感じます。
- ・高校との交流や共同研究などをたくさんしたらいいと思う。
- ・地元での就職に強くて、旭川から出て行く人を少しでも減らせる大学。市内で会社をつくることができるようにする。
- ・名寄の短大がなくなった分、旭川短大を公立にすれば自然と人数が増えると思う。
- ・外見などをきれいにしてほしい。また、学内の雰囲気も良く入りやすいようにしてほしい。

##### 【学部に関すること】

- ・全国的に少ない学科を設置してほしい。
- ・旭大が公立になるなら、公務員の学科作って！
- ・旭川らしいものづくりの学部もおきつつ様々な学部もおけば進学しやすいと思う。
- ・旭川でも獣医師免許をとれる大学があればよい。
- ・薬学部を設立してください。
- ・工学部をぜひ作ってほしい。
- ・情報系などの新設が望ましい。これからの情報社会で活躍できる人材が育つような学習の場がほしい。
- ・高い学力を求められる理系学部、文系学部などある大学をつくってほしい。自習スペースがほしい。
- ・道内に専門的に社会学や地理・歴史を学べる大学がないのでそれらの学部についても検討してほしい。
- ・国際学部とか作ったらいいと思います。(これから英語が必要になってくるから)
- ・小樽商大の様な商業に関して学習できる学校が欲しい。
- ・旭川市に建築学科がある大学ができれば、進学するかもしれない。
- ・もっと英語に力を入れたり、飛行機のモックアップやホテルの実習室なども欲しい。留学に行きやすくしてほしい。

## 主な自由意見

### 【高等教育機関の設置に関すること】

- ・もっと国公立を増やして欲しい。
- ・理系の大学（国公立）がほしい。
- ・旭川市に大学をもう少し作って頂きたいです。また、進学を希望しているが金銭面で進学出来ないような生徒のための対策を取ってほしいです。
- ・教育大や医大のような専門的の大学以外でそれなりの学力が必要な大学があると便利だと思います。若者に幅広い希望を持たせて欲しい。
- ・農業の学校をつくってほしい。
- ・専門学校、短大を増やして欲しい。
- ・看護専門学校と看護大学（市内）を増やしてほしい。
- ・デザイン系の専門学校がほしいです。
- ・菓子専門学校があればいいのかと思います。
- ・ブライダル専門学校がほしい旭川に。
- ・音楽系の専門学校を作って欲しいです。
- ・絵の勉強ができる専門学校があったらいいなと思います。
- ・公務員を目指す人のためのプログラムを用意している専門学校があると良いと思う。

### 【その他】

- ・私立の学費を安くしてほしい。
- ・もっとスポーツの面に投資して名を上げて行ってほしい。

## 高校卒業後の進路等に関するアンケート調査の実施について

現在旭川市では、高等教育機関の設置について検討しており、今年度は旭川大学をベースにした公立大学の設置について検討しています。

このアンケートでは、旭川市においてこのような取組を進めていくに当たり、今後進学などを控えている高校2年生の皆さんの高校卒業後の進路についての考えをお聞きするとともに、旭川大学をベースにした公立大学に関しての考えもお聞きし、今後の検討を進めるときの参考にしたいと思っておりますので、回答についての御協力をお願いします。

なお、旭川大学をベースにした公立大学の設置の検討に当たっては、現在の旭川大学にある学部・学科の見直しや、新しい学部としてものづくり系の学部・学科の新設についても検討しています。ものづくり系の学部・学科については、現段階では、旭川が有する地理的環境や自然環境、旭川家具をはじめとする産業基盤など、豊富な地域資源をフィールドとして活用しながら、感性と創造力を磨き、変化の激しい社会の中でも新たな発想でものごとを創造することができるような学部内容を検討しており、現時点での人材育成像については以下のとおりと考えています。

- ・デザインから経営などの幅広い分野を学びながら、創造的で自律した人材の育成
- ・地域が抱える様々な課題を発見し、多角的かつ複合的にアプローチし、柔軟な発想を持って解決策を導くことができる人材の育成
- ・国内のみならず、世界に目を向けることのできる広い視野と深い洞察力を備え、グローバル社会に適應できる人材の育成

※回答については、あてはまる番号（数字）に○印をつけてください。

※現時点で、検討中のものもあると思いますが、自分の考えに最も近いと思うものを選択してください。

※問い合わせ先：旭川市役所 総合政策部 政策調整課  
電話 0166-25-5358  
Mail seisakuchosei@city.asahikawa.lg.jp

### I 基本事項

Q1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性

2. 女性

Q2 高校を卒業した後の進路希望について1つお答えください。

1. 大学
2. 短期大学
3. 専修学校、専門学校
4. 就職
5. その他

（具体的な内容を記載してください）

〔具体的に〕

→「1～2」と回答した方は「Q3」へ

→「3～5」と回答した方は「Q11」へ

### II 進学に関する事項（Q2で「1～2」と回答した方におたずねします。）

Q3 進学を希望する地域を1つお答えください。

1. 旭川市内
2. 札幌市及びその近郊（札幌市、小樽市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市）
3. 1～2を含む道内
4. 東京都及びその近郊（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
5. 4を含む道外
6. 国外

Q4 進学先を決めるときに重視すること、主なものを3つお答えください。

1. 入試の難易度が自分の学力水準に合っていること
2. 専門的スキルや資格が取得できること
3. 学費が安いこと
4. 生活費が安いこと
5. 教育内容（学部・学科・研究内容）が自分の志望に合っていること
6. 文系理系にとられない幅広い学問分野が学べること
7. 留学ができること
8. 就職に強いこと
9. 学校の知名度が高いこと
10. 自宅から通えること
11. 有名な先生がいること
12. 奨学金制度が充実していること
13. 街やキャンパスの雰囲気が良いこと
14. 親など親族の意向
15. その他（具体的な内容を記載してください）

〔具体的に〕

Q5 進学を希望する大学等の設置主体について1つお答えください。

1. 国公立
2. 私立
3. 特になし

Q6 進学を希望する大学等の学部・学科について3つまでお答えください。

1. 文学・史学
2. 法律・政治・行政
3. 経済・経営学
4. 心理学・哲学
5. 外国語・国際関係学
6. 社会学・社会福祉学
7. 教育学
8. 理学
9. 工学
10. 情報科学・情報工学
11. 環境学
12. 農学
13. 獣医学
14. 畜産学
15. 医学
16. 歯学
17. 薬学
18. 看護学
19. 保健・医療・介護
20. 食物・栄養学
21. 芸術・美術
22. その他（具体的な内容を記載してください）

〔具体的に〕

Q7 市が旭川大学をベースにした公立大学の設置を検討していることを知っていましたか。

1. 前から知っていた
2. このアンケートで初めて知った

Q8 旭川に公立大学が設置された場合、何を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 地域が必要とする人材の育成
2. 世界でも活躍できる人材の育成
3. 先端技術・知識、創造能力の習得やそれに係る専門的研究
4. 資格取得に力を入れる大学【具体的な資格内容：】
5. 就職に関する手厚いサポート
6. 社会人の学び直しの場合
7. 地元の高校や企業との連携
8. 地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）
9. 学びたい学問分野がある。
10. その他（具体的な内容を下に記載してください）

【具体的に】

Q9 調査票の文頭でも触れましたが、現在検討している旭川大学をベースにした公立大学での、ものづくり系学部等の考えについてどう思いますか。

1. 良い
2. 概ね良い
3. どちらとも言えない
4. あまり良くない
5. 良くない
6. わからない

※選択した具体的な理由について御意見があれば記入してください。

【御意見】

Q10 旭川大学をベースにした公立大学が設置された場合、進学先の対象としてなり得ますか。

1. なる  
⇒その理由： 1 地元の公立大学だから  
2 学びたい内容があるから  
3 その他（具体的な内容を記載してください）

【具体的に】

2. ならない  
⇒その理由： 1 地元の進学を考えていないから  
2 学びたい内容がないから  
3 その他（具体的な内容を記載してください）

【具体的に】

3. わからない

Ⅲ 就職に関する事項（Q2で「1～5」と回答した方におたずねします。）

Q11 就職を希望する地域を1つお答えください。

1. 旭川市内
2. 札幌市及びその近郊（札幌市、小樽市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市）
3. 1～2を含む道内
4. 東京都及びその近郊（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
5. 4を含む道外
6. 国外

Q12 職業を選択するときに重視すること、主なものを3つお答えください。

1. 自分に合った業種であること
2. 将来性があること
3. 安定性があること
4. 収入が高いこと
5. 専門的知識・技術を生かせること
6. 社会貢献ができること
7. 社会的評価が高いこと
8. 福利厚生（有休休暇制度、社会保険制度、社員寮など）が充実していること
9. 勤務先の雰囲気が良いこと
10. 自宅から通えること
11. 親など親族の意向
12. その他（具体的な内容を記載してください）

〔具体的に〕

Q13 将来つきたい業種、職業について1つお答えください。

1. 農業、林業、漁業
2. 建設業
3. 製造業
3. 電気・ガス・水道業
4. IT・ネットワーク関係
5. 運輸業、郵便業
6. 卸売業、小売業（総合商社、百貨店、デパートなど）
7. 金融業、保険業、不動産業
8. 宿泊業、飲食業、理美容業、冠婚葬祭業
9. 芸能、スポーツ関係
10. 教員、保育士、塾講師
11. 医療関係
12. 福祉関係
13. 弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、弁理士など
14. 公務員（事務職、技術職、消防士、警察官、自衛官、海上保安官、刑務官など）
15. ものづくり関係・デザイナー
16. その他（具体的な内容を記載してください）

〔具体的に〕

Q14 旭川市における大学、短大、専門学校等について御意見がありましたら記入してください。

（御意見）

◎御協力ありがとうございました。